

三宅島火山活動災害の長期化に関する
生活実態アンケート調査
集計結果報告書

平成 13 年 3 月

東京都三宅村

目次

1. 調査の目的と方法	1
2. 集計結果の概要	2
(1) 家族などについて	2
(2) 生計の実態	2
(3) 借入金の実態	10
(4) 求職の実態	12
(5) 情報収集の実態	16
(6) 医療の実態	19
(7) 教育について	21
(8) 住宅について	22
(9) 自由回答について	24
(10) まとめ	26
3. 調査結果	27
(1) 家族などについて	27
(2) 生計の実態	28
(3) 借入金の実態	35
(4) 求職の実態	36
(5) 情報収集の実態	39
(6) 医療の実態	40
(7) 教育について	41
(8) 住宅について	41
4. 資料（調査票）	資-1

1. 調査の目的と方法

(1) 目的

本調査は、三宅島火山活動災害により避難生活を強いられている被災者に対する、今後の施策に反映させるために、被災者の生活実態や意向を把握することを目的とする。

(2) 対象

平成13年2月22日現在の住民基本台帳に基づく世帯主 2,004世帯
(避難後の再移転先不明世帯13世帯および9月4日以降の転入者を除く)

(3) 実施期間など

- 1) 調査方法 郵送調査法
- 2) 調査期間 平成13年3月1日～3月15日

(4) 回収率

回収数：1,285票 回収率：64.1%

(5) 調査指導

廣井 脩（東京大学社会情報研究所 教授）

(6) 調査機関

（株）社会安全研究所 （調査協力）（株）サーベイリサーチセンター

2. 集計結果の概要

(1) 家族などについて

(調査票の「A あなた御自身やご家族のことについて」の質問)

避難前に比べ同居している家族数が減少したと回答した世帯は19.7% (253世帯)であった(問5)。また、その理由については「子供が秋川高校で寮生活をしている」と回答した世帯が42.3%、「他の地域に長期で働きに行っている」と回答した世帯が17.8%であった(図1)。

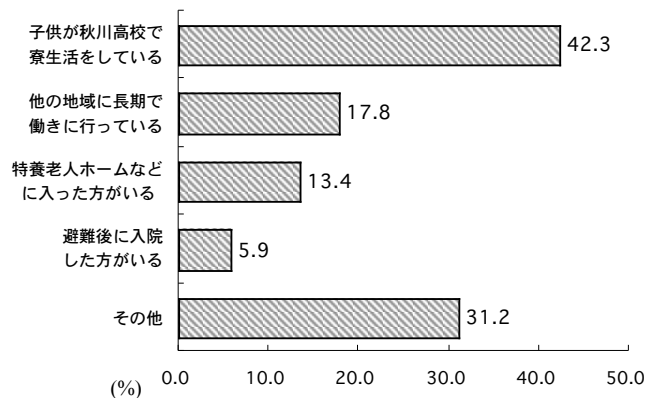


図1 家族数が減少した世帯の理由

(回答世帯数 253世帯)

(2) 生計の実態

(調査票の「B 生計について」の質問)

1) 職業と就業形態の変化

避難前の主な収入源となっている職業(問1)で、最も多かった回答は「年金」の25.7%で、これに「公務員」の15.1%、「建設業」の14.0%が続いている。

職業比率を避難後(問4)で見ると、避難前と同様に「年金」が37.9%と一番多く、次が「公務員」の14.8%で、これに「無職」の13.2%が続いている。

「無職」は避難前が3.2%であったが、避難後は13.2%となった(図2)。

避難後の年金生活者の比率が増加している理由としては、避難前に複数あった収入源が避難後には年金のみになってしまったことが考えられる。

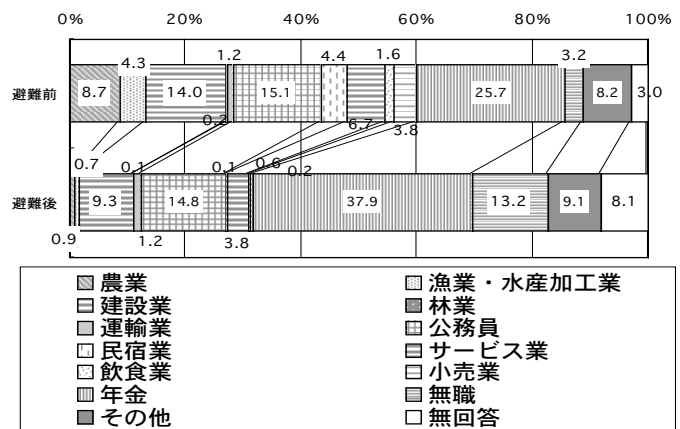


図2 避難前と避難後の職業の変化

(回答世帯数 1,285世帯)

就業形態では、避難前（問2）に45.0%と最も多かった「会社等に常時雇用されている」が避難後（問5）は57.9%となっている。また、同じように避難前に合計12.0%であった「会社等での臨時雇用」と「会社等での日雇い」は避難後は22.1%まで増加している。一方、避難前に23.3%だった「自営業主」（雇用人あるとなしの合計）は、現在4.1%にまで減少している（図3）。

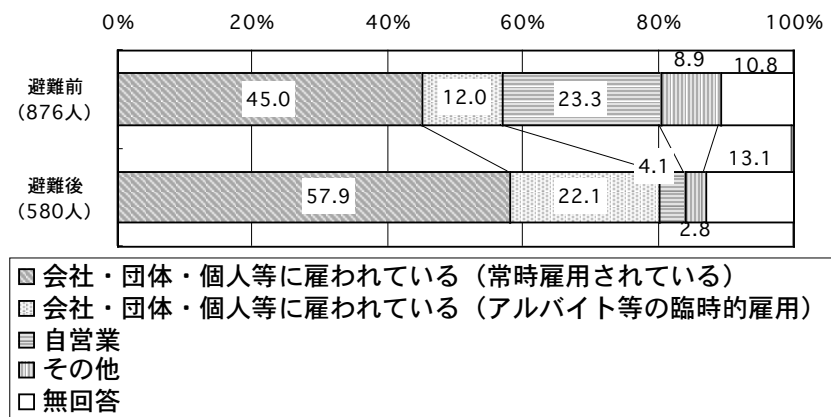


図3 避難前と避難後の就業形態の変化

注) 就業形態について、問2の選択肢の「自営業種（雇用人あり）」と「自営業種（雇用人なし）」を合計して「自営業」として、「家族従業者」は「その他」に含めグラフ化している。

2) 避難生活の中での家賃等の支出

家賃を支払っている世帯は10.6%である（図4）。月平均の支払額は約51,000円で（表1）、5万円以上支払っていると回答した世帯は、支払っていると答えた世帯のうち42.6%である（図5）。

電気代、ガス代、電話代は、8割以上の世帯が支払っており、1ヶ月あたりの支払額の平均は、順に約6,700円、約6,100円、約9,800円である。

水道代を支払っている世帯は59.5%で、月平均の支払額は約4,100円である。

したがって家賃を支払っている世帯の1ヶ月あたりの平均支払額は、水道光熱費を含めて約8万円であり、一方家賃なしの世帯の支払額は約3万円になる。

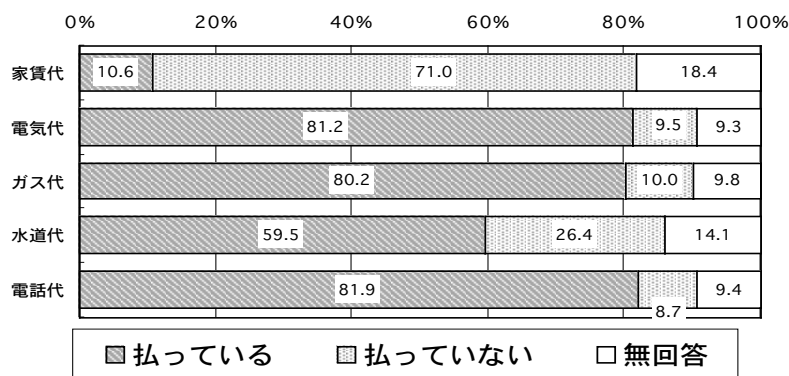


図4 家賃等の支払いの有無

（回答世帯数1,285世帯）

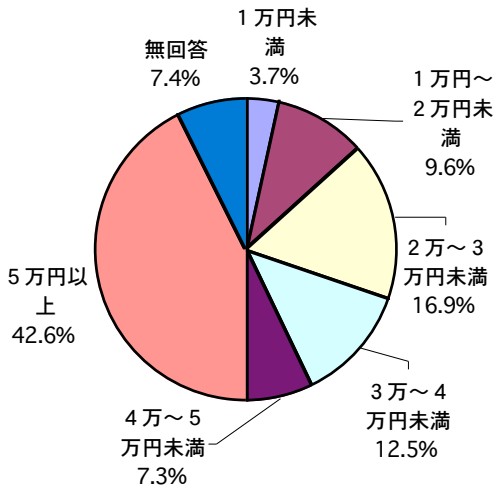


図5 家賃の金額の分布
(回答世帯数 136 世帯)

表1 家賃等の金額の平均

(単位：円)

回答世帯数	平均	最小値	最大値
家賃代 (128世帯)	51,116	500	200,000
電気代 (968世帯)	6,687	800	70,000
ガス代 (956世帯)	6,081	500	60,000
水道代 (700世帯)	4,074	115	60,000
電話代 (976世帯)	9,835	1,500	100,000

3) 収入の変化と生活の維持

避難前の年収(問3)では「500万円以上」と回答した世帯が23.2%と一番多く、次が「100～200万円未満」の16.4%であった。

収入の変化についての質問では、「収入がまったくなくなった」と回答した世帯は、21.9%である(図6)。また「月額で2～3割くらい減った」という回答が14.6%、「月額で5割以上減った」と回答した世帯は10.0%であった。今のところ「あまり変わらない」と回答した世帯は33.8%である。

これを比較的収入の安定している年金生活者と公務員を除いた世帯でみると、収入が減少している世帯は78.1%であり、特に「収入がまったくなくなった」と回答した世帯は32.5%であった。自営業者のみに限定した集計では、「収入がまったくなくなった」と回答した世帯は50.5%にのぼり、「月額で5割以上減った」と回答した世帯も24.0%で、全体平均の2倍以上の値を示した。

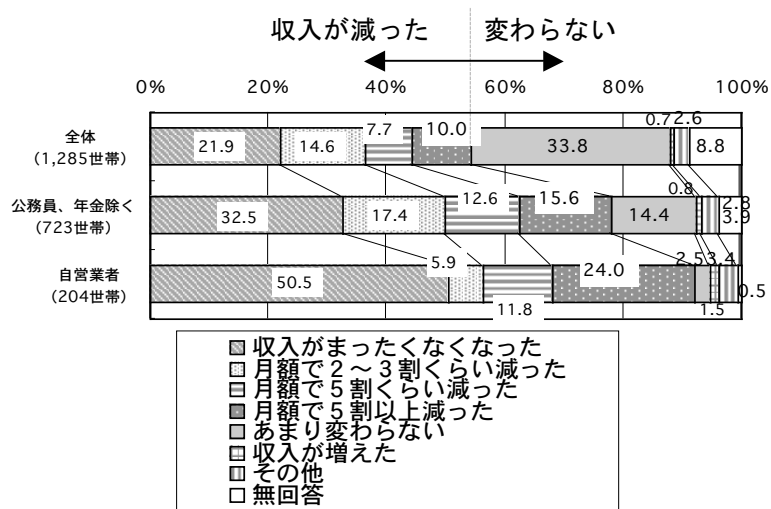


図6 避難後の収入の変化

仕事以外の収入を複数で回答してもらった結果（問7）、「貯金の取り崩し」と回答した世帯が最も多く、56.8%にのぼり、これに「義援金」の51.8%が続いている（図7）。「貯金の取り崩し」を年金生活者と公務員を除いた世帯でみると65.9%であり、自営業者のみに限定した集計では76.5%である。

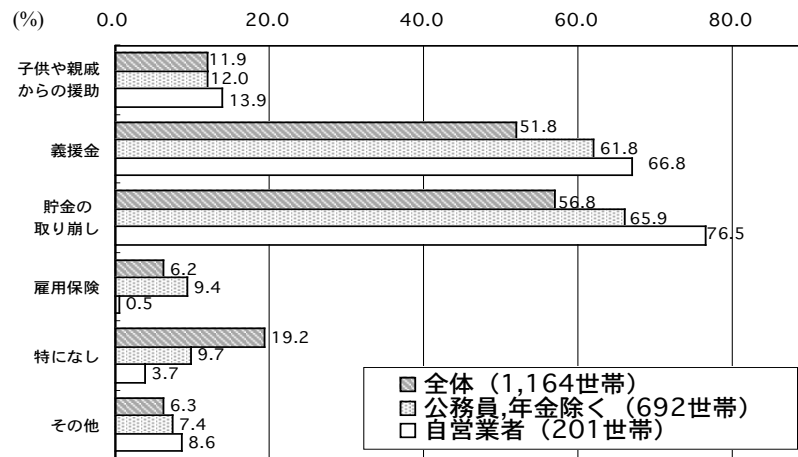


図7 現在の収入状況

4) 現在の生活状態

現在の暮らし向きについて（問9）は、29.2%の世帯が苦しいと回答している（図8）。その内訳は、「苦しい」が16.4%、「非常に苦しい」が12.8%である。これを年金生活者と公務員を除いた世帯でみると39.4%の世帯が苦しいと回答している。さらに、自営業者のみに限定して集計すると50.0%の世帯が苦しいと回答している。

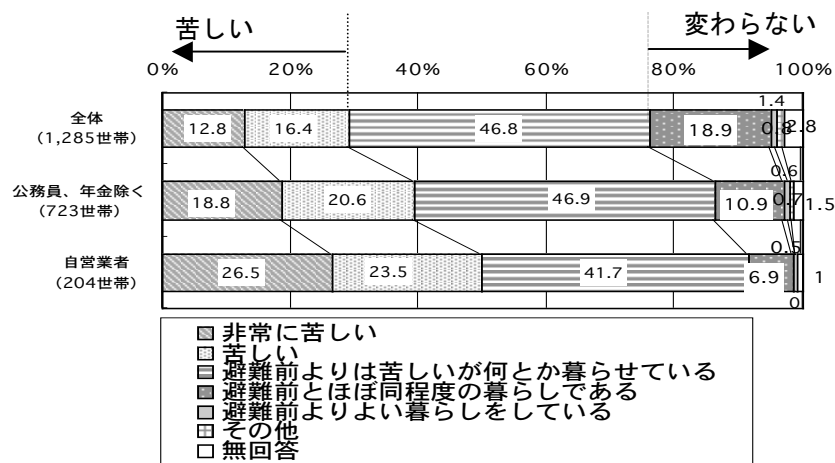


図8 生計の状態

次に、年代との関係でみると（図9）、20～60代では、年代が上がるにしたがい「非常に苦しい」、「苦しい」への回答率が高くなっている。なかでも60代が最も高く、「非常に苦しい」が15.0%、「苦しい」が17.9%と、合計32.9%の世帯で苦しいと回答している。

また、C-問1「借入金の有無」の回答との関係でみると（図10）、借入金があると回答した世帯は、「非常に苦しい」が23.2%、「苦しい」が22.1%と、合計45.3%が苦しいと回答しており、借入金のない世帯に比べ、生計が苦しいと回答する率が高くなっている。

さらに、D-問1「これまでの就労状況」の回答との関係でみると（図11）、仕事をしていない世帯の方が「非常に苦しい」、「苦しい」への回答率が高くなっている。なかでも、一度も仕事に就いていない世帯が最も高く「非常に苦しい」が18.7%、「苦しい」が19.6%と、合計38.3%が苦しいと回答している。

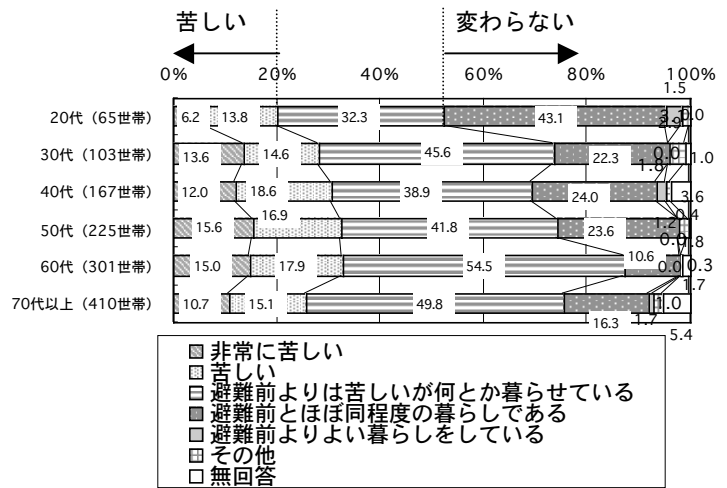


図9 生計の状態（年代別）

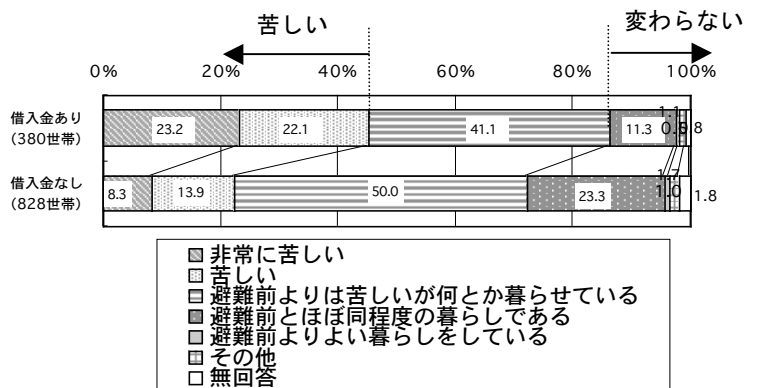


図10 生計の状況（借入金の有無）

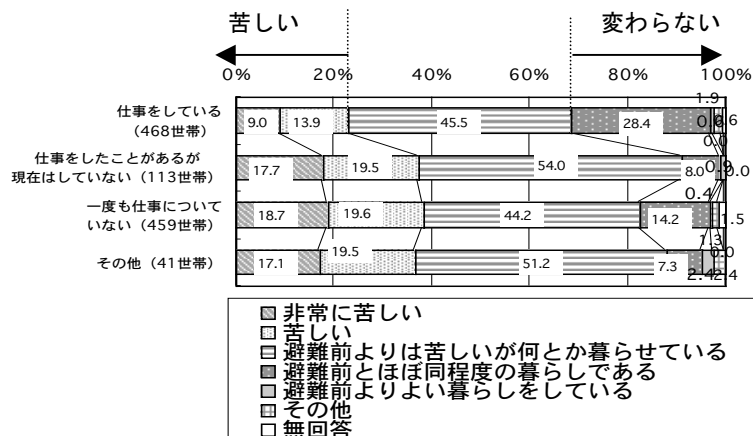


図11 生計の状況（これまでの求職活動状況）

5) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向き（問10）については、「非常に苦しくなりそうだ」が27.6%で、「少し苦しくなりそうだ」が21.0%で、合計すると約半数の世帯が生計について不安を持っていることが分かる。これを年金生活者と公務員を除いて集計すると61.1%になる（図12）。

これを年代との関係でみると（図13）、20～60代では、年代が上がるにしたがい「非常に苦しくなりそうだ」「苦しくなりそうだ」への回答率が高くなっていく。なかでも60代が最も高く、「非常に苦しくなりそうだ」が33.6%、「苦しくなりそうだ」が23.3%と合計56.9%の世帯で苦しくなりそうだと回答している。

また、C-問1「借入金の有無」の回答との関係でみると（図14）、借入金があると回答した世帯は、「非常に苦しくなりそうだ」が43.9%、「苦しくなりそうだ」が22.1%と合計66.0%の世帯で苦しくなりそうだと回答しており、借入金のない世帯に比べ、生計が苦しいと回答する率が高くなっている。

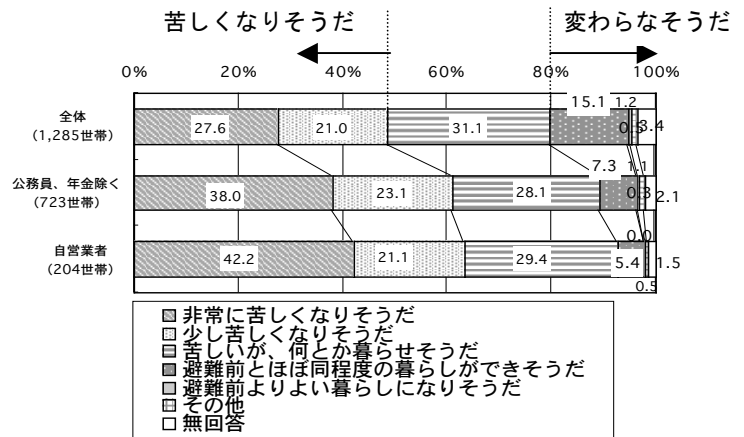


図12 生計の見通し

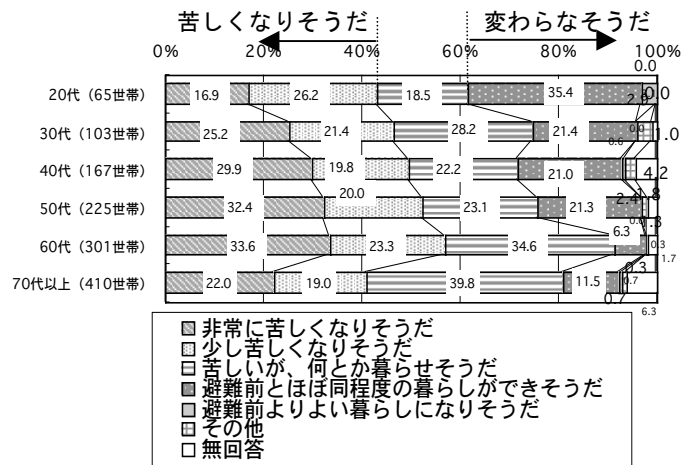


図13 生計の見通し（年代別）

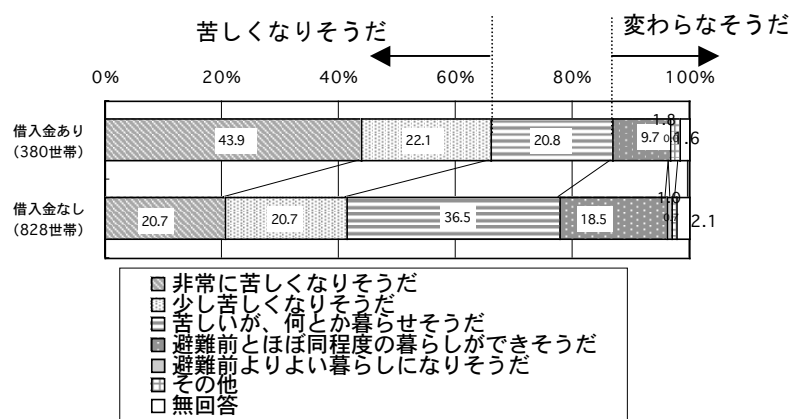


図14 生計の見通し（借入金の有無）

さらに、D-問1「これまでの就労状況」の回答との関係でみると（図15）、仕事をしていない世帯の方が「非常に苦しくなりそうだ」、「苦しくなりそうだ」への回答率が高くなっている。なかでも、仕事をしたことがあるが現在はしていない世帯が最も高く、「非常に苦しくなりそうだ」が38.9%、「少し苦しくなりそうだ」が33.6%と、合計72.5%の世帯で苦しくなりそうだと回答している。

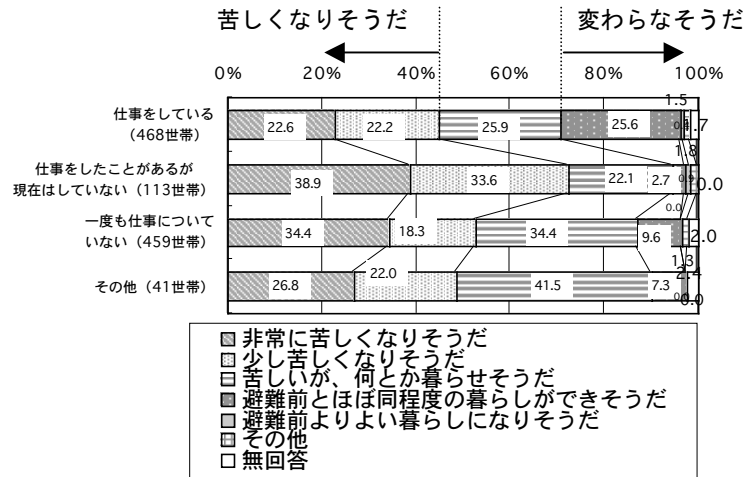


図15 生計の見通し（これまでの求職活動状況）

6) 現在の生活の継続期間

経済面で今の状態を今後どれぐらいの期間続けられるかという質問（問11）については、「1年未満」と回答した世帯が最も多く全体の33.9%、「1年ぐらい」と回答した世帯が25.9%である。「1年未満」と「1年ぐらい」の合計を年金生活者と公務員を除いて集計すると71.3%である。また、自営業者に限定すると78.9%である（図16）。

これを年代との関係でみると（図17）、年代が上がるに従い「1年未満」への回答率が高くなっている。特に60代では38.2%と最も高くなっている。反対に、年代が上がるに従い「4年以上」への回答率は低くなっている。特に60代が最も低く6.0%となっている。

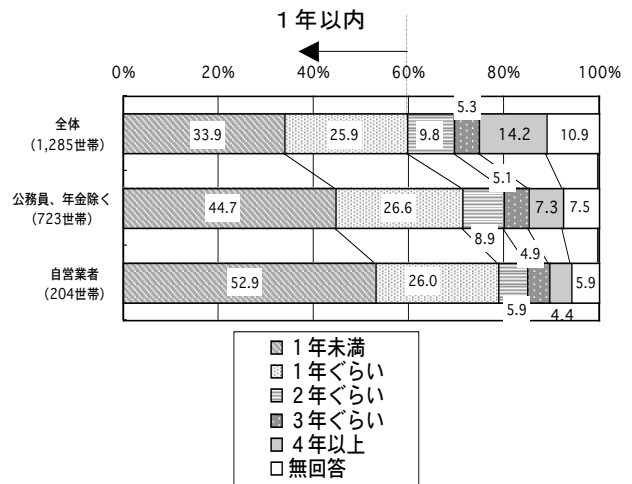


図16 今の生計状態の継続

C-問1「借入金の有無」の回答との関係でみると(図18)、借入金があると回答した人は、「1年未満」が42.9%、「1年ぐらい」が27.4%と、合計70.3%が1年以内と回答している。

さらに、D-問1「これまでの就労状況」の回答との関係でみると(図19)、仕事をしたことがあるが現在はしていない世帯では、「1年未満」が44.2%、「1年ぐらい」が31.0%と1年以内への回答が合計75.2%であった。

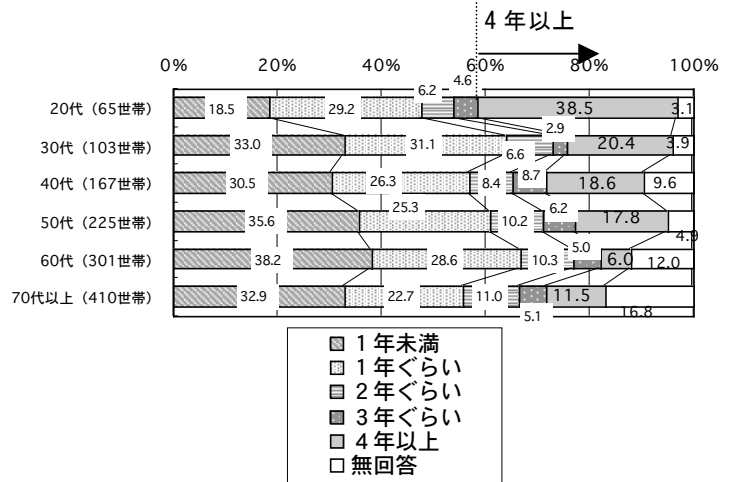


図17 今の生計状態の継続 (年代別)

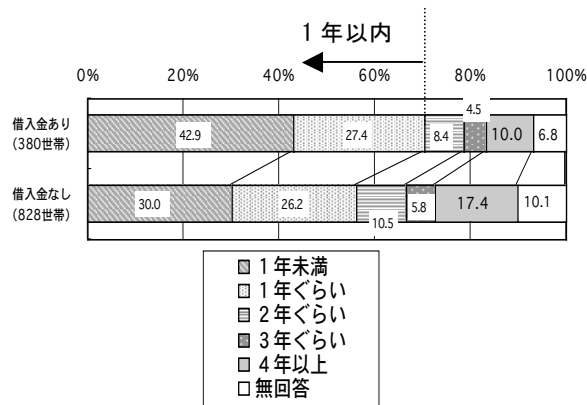


図18 今の生計状態の継続 (借入金の有無)

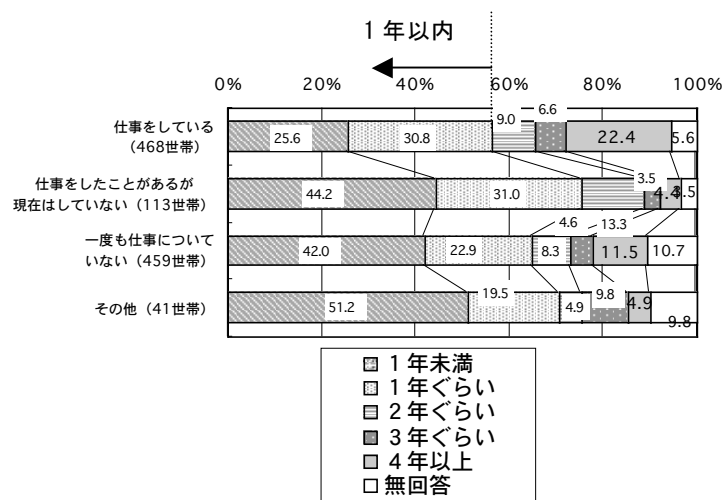


図19 今の生計状態の継続 (これまでの求職活動状況)

(3) 借入金の実態

(調査票の「C 借入金について」の質問)

1) 借入金の状況と借入残金

借入金があると答えた世帯は29.6%（380世帯）で、その内容（問1-1）は「住宅資金や車のローン」が65.8%で、「事業のための借入」が31.1%である。

借入金の残金（問1-2）は全平均が1,300万円で、1,000万円以上の残金を抱えている世帯が36.6%である。自営業者に限定した平均は約1,800万円になる。また1,000万円以上の残金を抱えている自営業者が47.4%となっている（図20）。

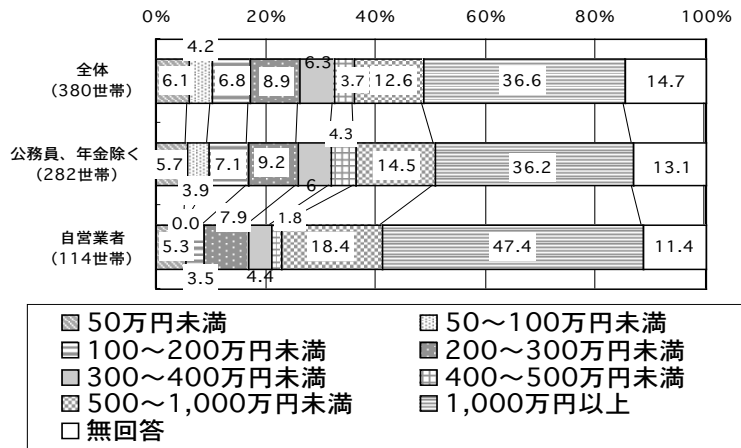


図20 借入残金

2) 返済金額と現在の返済状況

災害前の返済金（問1-3）は、1ヶ月あたり10万円以上の世帯が30.5%と最も多く、次いで5～10万円以下が28.4%であり、約6割の世帯が5万円以上の返済をしていたことになる。

現在の返済状況（問1-4）については、「避難前と同じように払っている」と答えた世帯が61.1%で、次が「利息だけ払っている」の17.1%である（図21）。また、「元金も利息も払っていない」と回答している世帯は11.8%であった。これを自営業に限定して集計すると、最も多いのが「避難前と同じように払っている」の42.1%で、「利息だけ払っている」が37.7%である。自営業以外では76.6%の世帯が「避難前と同じように払っている」と回答している。

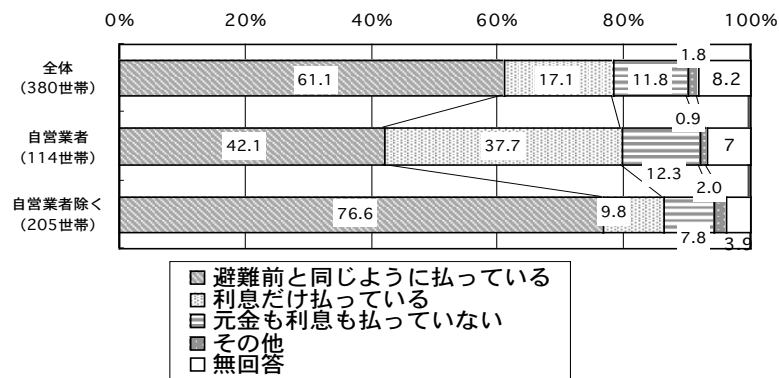


図21 現在の返済状況

3) 自由回答の内容

借入金に対する支援策の自由回答では、193 件の回答があった。回答内容を分類した結果（表 2）、「元金据え置き希望」の回答がもっとも多く 55 件であった。次いで、無利息借入の借り換えをしたいなどの「借り換え希望」の回答が 42 件、利子補給があれば、先の見通しがつけやすいなどの「利子補給希望」の回答が 20 件と続いている。

表 2 借入金に対する支援策の自由回答の内容分類

回答内容分類	件数
元金据え置き希望	55
借り換え希望（無利息、無担保、無保証人、長期返済）	42
利子補給希望	20
支援策（特別立法など）	16
借り入れができない	11
返済期間の延長	9
返済金の減額	5

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「元金据え置き。利子の補給。」という回答は、「元金据え置き希望」と「利子補給希望」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(4) 求職の実態

(調査票の「D 求職について」の質問)

1) 避難後から現在までの就労状況と未就労の理由

現在までの就労状況(問1)は、「一度も仕事についていない」が35.7%であり、「仕事はしたことがあるが現在はしていない」が8.8%で、その合計は44.5%である。一方、現在「仕事をしている」と回答した世帯は36.4%である(図22)。

年代との関係みると、20～30代は8割以上、40～50代は6割以上の世帯が仕事をしていると回答しているが、60代では20.9%、70代では2.2%と低くなっている。また、60代では47.5%、70代以上では58.0%の世帯が、一度も仕事についていないと回答している。

さらに、現在仕事をしていない世帯にその理由を複数回答で質問した結果、一番多かったのが「年齢が高いため」の66.4%で、次いで「噴火の見通しが分からないため」の14.5%であった(図23)。また、その他と回答した人の理由は、「病気のため」のように、病気・障害を理由とする回答が56件あり、次いで、「83歳の病弱な老人がいるため」のように、家族の介護・育児を理由とする回答が9件あった。

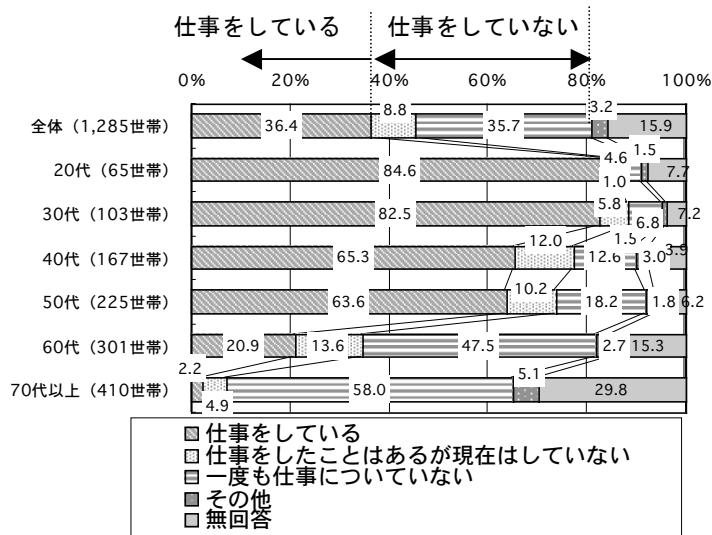


図22 現在までの就労状況

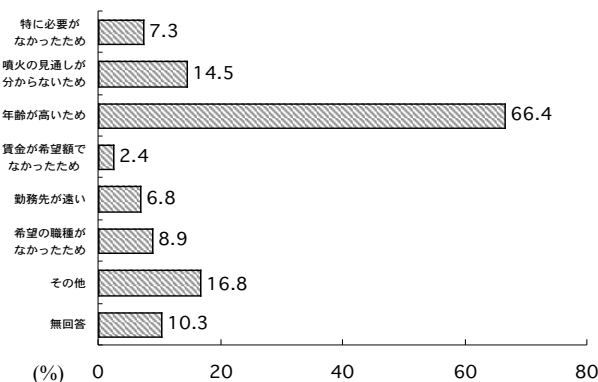


図23 現在仕事をしていない理由

(回答者数 572 人)

2) 現在の求職状況

現在の求職状況では、仕事を探していない世帯は全体の59.6%であるのに対し、仕事を探している人が「一人以上いる」という世帯が全体の40.3%（391世帯）であった。これを年金生活者と公務員を除いてみると半数以上の51.7%の世帯が仕事を探しているという結果である（図24）。

仕事を探している人が1人以上いる世帯の合計は391世帯であるが、このうちさらに2人以上が仕事を探している世帯は、29.4%（115世帯）である。

仕事を探している人を性別で見ると（問2-1）、回答者本人では64.2%と男性が多いが、2人目の回答者では、逆に85.7%と圧倒的に女性が多くなっている（図25）。

さらに、年代との関係でみると（表3）、年代が上の人ほど仕事を探していることが窺え、60代の世帯主本人の回答は30.7%と高くなっている。

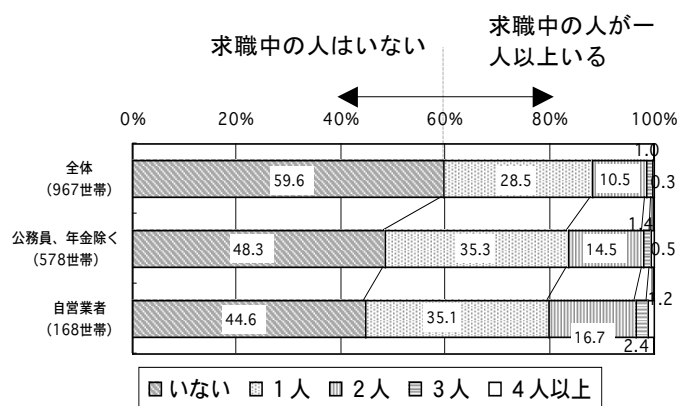


図24 現在の求職活動の状況

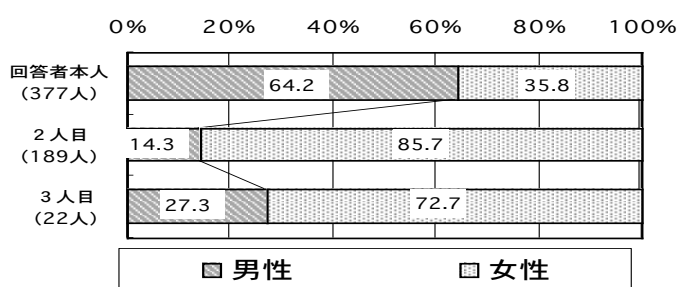


図25 求職者の男女構成比

表3 求職者の性別と年代

		回答者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答者本人	全体	326	0	11	28	58	57	100	72
		%	0.0	3.4	8.6	17.8	17.5	30.7	22.1
	男性	207	0	7	12	38	36	69	45
		%	0.0	3.4	5.8	18.4	17.4	33.3	21.7
2人目	全体	162	2	9	18	39	34	45	15
		%	1.2	5.6	11.1	24.1	21.0	27.8	9.3
	男性	21	1	1	6	4	3	5	1
		%	4.8	4.8	28.6	19.0	14.3	23.8	4.8
3人目	全体	17	1	1	2	5	3	2	3
		%	5.9	5.9	11.8	29.4	17.6	11.8	17.6
	男性	3	0	0	1	1	1	0	0
		%	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
女性	14	1	1	1	4	2	2	3	
		%	7.1	7.1	7.1	28.6	14.3	14.3	21.4

希望の職種（回答者本人から3人目までの合計）を性別との関係で見ると、男性では「建築土木作業」（28.0%）、「清掃作業」（17.7%）、「サービス業」（15.1%）の希望が多く、女性の希望職種は「清掃作業」（27.0%）、「サービス業」（26.5%）、「事務作業」（17.5%）の希望が多い（図26）。

求職活動方法について複数回答で聞いた結果、職業安定所（33.2%）や親戚・知人に頼む（32.1%）など、様々な方法を用いて求職活動を行っていることが窺える（図27）。

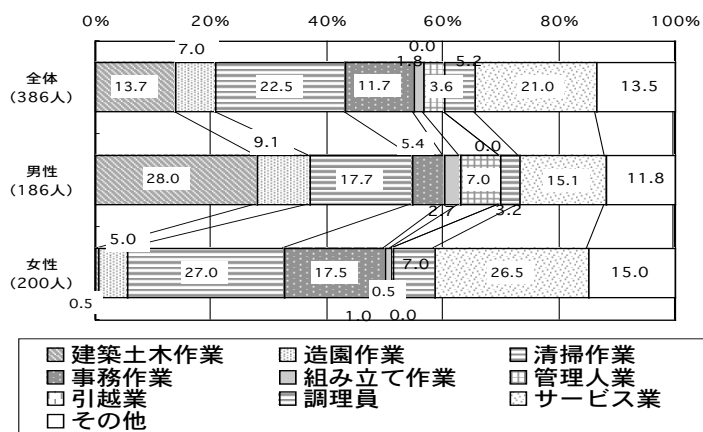


図26 希望職種

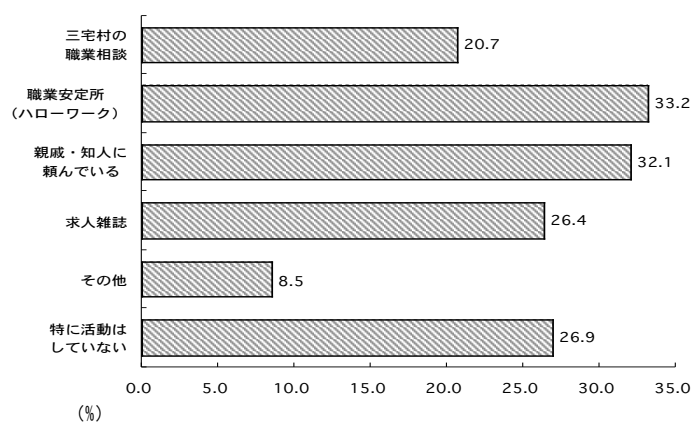


図27 求職活動方法

(回答者数 458人)

注) 希望職種、求職活動方法については、回答者本人、2人目、3人目のデータを合計して集計を行っている。

3) 自由回答の内容

就労に対する支援策の自由回答では、112 件の回答があった。回答内容を分類した結果(表 4)、高齢者のための草むしりや栽培、内職の紹介などの「高齢者向けの仕事希望」の回答がもっとも多く 25 件であった。次いで、国、都が就労先を提供してほしいなどの「行政の支援希望」の回答が 24 件、就労希望者に求人情報を送ってほしいなどの「求人情報の提供」の回答が 14 件と続いている。

表 4 就労に対する支援策の自由回答の内容分類

回答内容分類	件数
高齢者向けの仕事希望	25
行政の支援（斡旋など）希望	24
求人情報の提供	14
避難先近くの職場の斡旋	12
仕事をしたいができない	12
とにかく仕事をしたい	7
農業、漁業希望	5
事業開設のための資金提供	5

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「避難先の近くで高齢者向けの仕事ができればやりたい」という回答は、「高齢者向けの仕事希望」と「避難先近くの職場の斡旋」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(5) 情報収集の実態

(調査票の「E 情報について」の質問)

1) 情報の評価と入手方法

「火山」「島の被害」「自宅等の被害」「都・村の支援」についての情報(問1)は、「たいへん不満足である」「やや不満足である」と回答した世帯が多く約半数を占めている。中でも「自宅の被害」に関する情報については、72.5%の世帯が不満があると回答している(図28)。

情報の入手方法は「火山」「島の被害」「自宅等の被害」に関しては「テレビ・ラジオ」と回答した世帯が最も多く、「都・村の支援」については「村の広報」と回答した世帯が多かった(図29)。

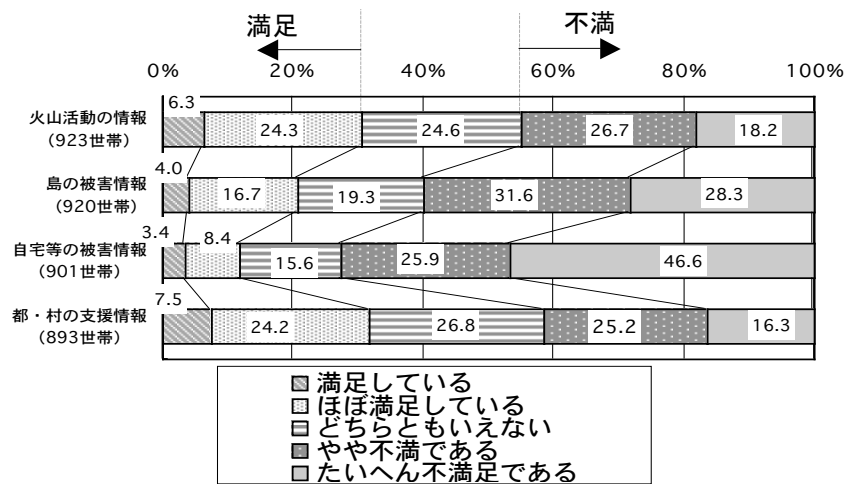


図28 情報の満足度

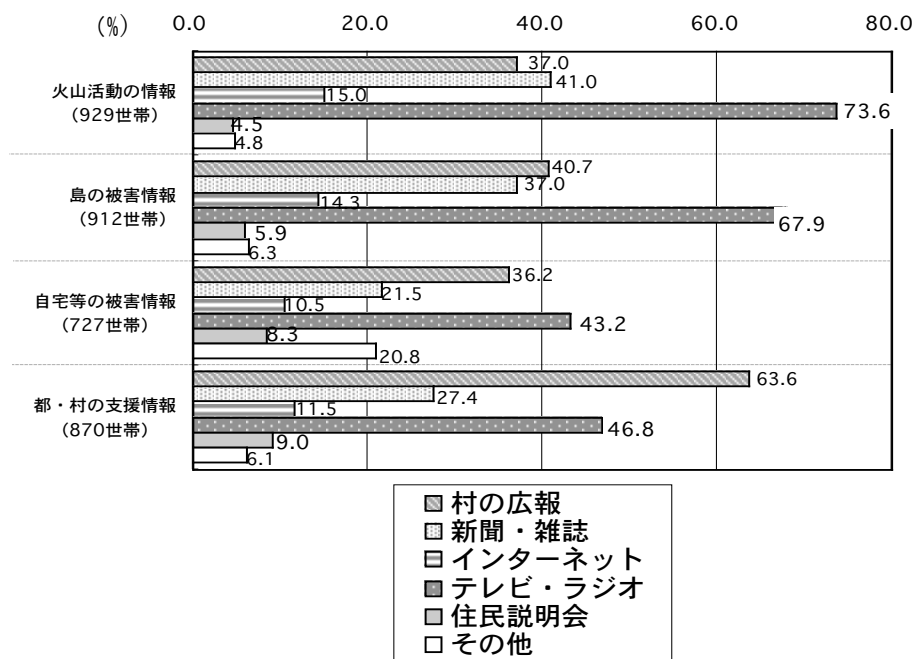


図29 情報入手方法

2) 自由回答の内容

一番知りたい情報に対する自由回答では、743 件の回答があった。回答内容を分類した結果（表 5）、自宅、畑などの被害情報などの「自宅とその周辺の情報」の回答がもっとも多く 359 件であった。次いで、帰れるのがいつ頃になるのかななどの「最終的な帰島の時期」の回答が 148 件、島内情報をもっと細かく数多く知りたいなどの「島の詳しい情報」の回答が 145 件と続いている。

表 5 一番知りたい情報に対する自由回答の内容分類

項目内容分類	件数
自宅とその周辺の情報	359
最終的な帰島の時期	148
島の詳しい情報	145
火山活動情報	75
一時帰島	69
今後の見通し（復興計画等）	69
生活支援情報	43
火山ガスの情報	27
農地、山林の被害	27
島の復旧活動の進み具合	17
住民説明会（回数や場所を増やしてほしい）	8
島民の現状（どこに住んでいるのか）	5
就職情報	3

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「火山活動の情報。自宅の被害情報」という回答は、「火山活動情報」と「自宅とその周辺の情報」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

次に、情報に対する希望の自由回答では、285 件の回答があった。回答内容を分類した結果（表 6）、広報等をもっとこまめに出して、送ってもらいたいなどの「役場の施策等の詳しい情報提供」がもっとも多く 60 件であった。次いで、避難先に、島の様子を知らせる写真等を送ってほしいなどの「島の詳しい情報」の回答が 38 件、インターネットにもっとも新しい情報をどんどん入れてほしい」といった「インターネットによる情報提供の強化」の回答が 37 件と続いている。

表 6 情報に対する希望の自由回答の内容分類

項目内容分類	件数
役場の施策等の詳しい情報提供（「広報の充実」など）	60
島の詳しい情報（被害・火山情報）	38
インターネットの情報提供の強化（「パソコンを借りたい」「最新情報を」など）	37
テレビ・ラジオ等のメディアを通じての詳しい情報	35
早くて、正確な情報提供	33
帰島（一時帰島）	31
自宅とその周辺の情報	27
もっと説明会を開催してほしい	23
生活支援情報	16
地方避難者への情報提供（「東京に比べ情報が少なすぎる」など）	15
島を撮影したビデオの提供	12
就職情報	4

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「パソコンを借りてインターネットで情報を知りたい。島に避難しているため情報が少ない」という回答は、「インターネットの情報提供の強化」と「地方避難者への情報提供」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(6) 医療の実態

(調査票の「F 医療について」の質問)

1) 医療費の状況と医療全般の問題

医療費の増加（問1）については「あまり変わらない」が37.4%であるが、「やや増えている」（22.4%）と「かなり増えている」（19.3%）を合計すると41.7%で、約4割の世帯で医療費が増えていることが分かる（図30）。

また増加した金額（問1-1）は月額あたり平均で3万円で、「1～2万円未満」の回答が一番多く31.7%で、「5万円以上」の回答も6.9%あった（図31）。

医療で困っていること（問2）を複数回答で聞いた結果、「医療機関が遠いので交通費がかかる」への回答が48.2%であった（図32）。

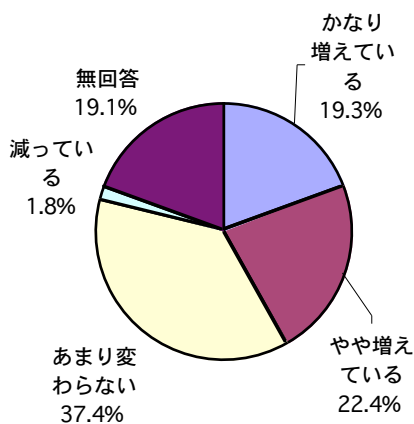


図30 避難後の医療費
(回答世帯数 1,285 世帯)

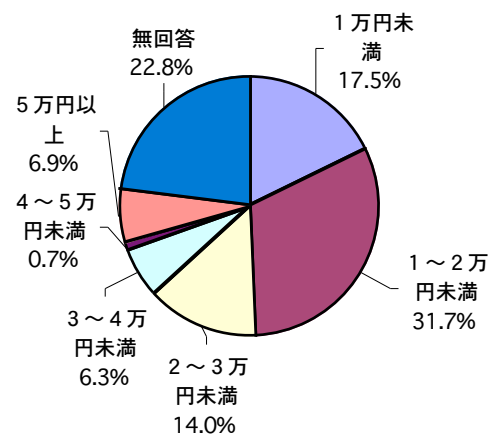


図31 医療費の増額分
(回答世帯数 536 世帯)

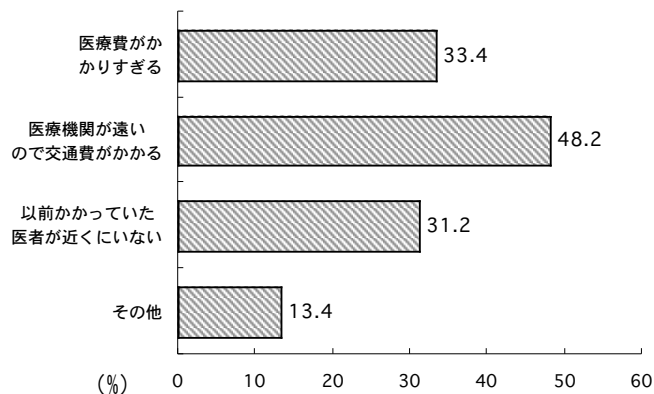


図32 医療で困っていること
(回答世帯数 506 世帯)

2) 自由回答の内容

医療に対する支援策の自由回答では、152 件の回答があった。回答内容を分類した結果(表 7)、医療費の一部負担の減免などの「医療費補助」の回答がもっとも多く 76 件であった。次いで、島民が通院できる島民のための医療機関がほしいなどの「島民向けの検診、医療機関の設置」の回答が 16 件、ストレスにより、病院に通うことが多くなっているなどの「体調不良の訴え」の回答が 13 件と続いている。

表 7 医療に対する支援策の自由回答の内容分類

項目内容分類	件数
医療費補助	76
島民向けの検診、医療機関の設置	16
体調不良の訴え	13
良い医療機関の情報提供	11
交通費補助	9
高齢者対応	6

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「医療費の補助。高齢者に対するケアを」という回答は、「医療費補助」と「高齢者対応」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(7) 教育について

(調査票の「G 教育について」の質問)

1) 今後の学校のあり方

今後の学校のあり方については、最も多かったのが「避難先の近くの学校に通学させるべき」の46.1%で、次が「学校は一緒にして、自宅から通学させるべき」の20.2%で、これに「寮生活でもよいから三宅の子供を一緒にの学校に通学させるべき」が18.3%と続いている(図33)。

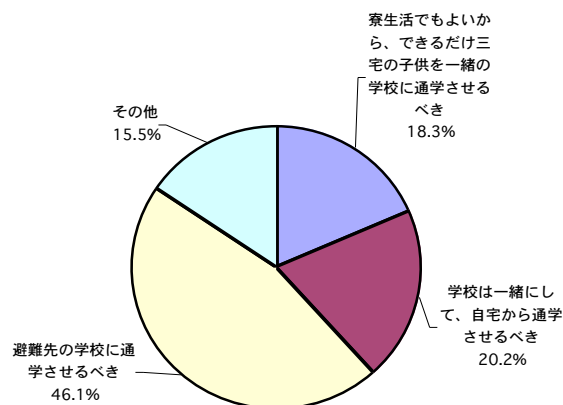


図33 今後の学校のあり方

(回答世帯数 471 世帯)

2) 自由回答の内容

教育に対する意見の自由回答では、176件の回答があった。回答内容を分類した結果(表8)、子供をいち早く親元へ帰すべきなどの「家族一緒での生活にする」の回答がもっとも多く54件であった。次いで、秋川での寮生活はあまり納得できないなどの「寮生活は反対」の回答が25件、秋川を出た子は経済的な(食費・学用品等)援助がほとんどないというのはおかしいなどの「転校した子供に対しても平等な支援を」の回答が13件と続いている。

表8 教育に対する意見の自由回答の内容分類

項目内容分類	件数
家族一緒での生活	54
寮生活は反対	25
転校した子供に対しても平等な支援を	16
教育環境の改善	8
学校(秋川)は存続させるべき	7
未就学児への対応	4

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「寮生活は無理。自宅から通わせるべき」という回答は、「寮生活は困難」と「家族一者での生活」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(8) 住宅について

(調査票の「H 住宅について」の質問)

1) 現在の住宅の形態

現在の住宅の形態について（問1）は、「公営住宅」が64.9%と一番多く、次いで「子供の家」の6.9%、「民間賃貸住宅」の5.1%の順である（図34）。

また、その他と回答した人の理由としては、「社宅」という回答が33件あり、次いで、持ち家があるなどの、「三宅島以外の自宅」といった回答が23件であった。

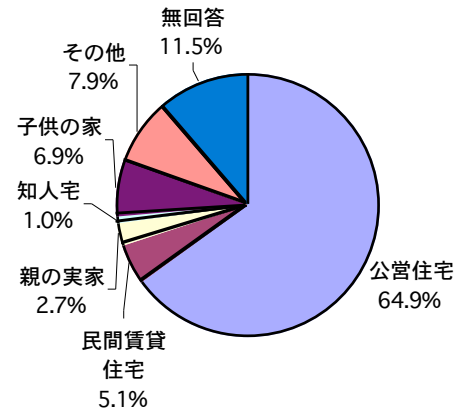


図34 現在の住宅の種類

(回答世帯数 1,285 世帯)

2) 現在の住宅の満足度

満足度（問2）については、「満足」と回答した世帯は62.7%であるのに対して、「不満がある」（12.0%）と「住み替えを希望したい」（6.5%）と答えた世帯は、合計18.5%であった（図35）。

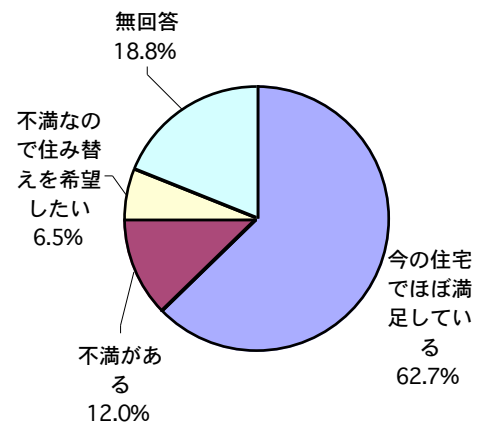


図35 住宅についての意向

(回答世帯数 1,285 世帯)

3) 都内移転希望

東京都以外に住んでいる世帯に都内への移転を質問した結果、35.0%の世帯が都内への転居を希望していることが分かった（図36）。

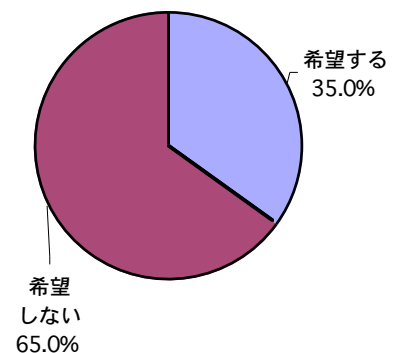


図36 東京都内への移転希望

(回答者世帯 180 世帯)

4) 自由回答の内容

問2で、「2. 不満がある」「3. 不満なので住み替えを希望したい」へ回答した人の理由には、222件の回答があった。回答内容を分類した結果(表9)、「狭い」の回答がもっとも多く56件であった。次いで、通勤に2時間弱かかるなどの「勤務先から遠い」の回答が38件、老齢で足が悪いので階段生活は困難などの「高齢者・弱者には不便」の回答が22件と続いている。

表9 住宅に対する不満・移転希望理由の自由回答の内容分類

項目内容分類	件数
狭い	56
勤務先から遠い(交通が不便)	38
高齢者・弱者には不便(「階段がづらい」など)	22
2世帯、大勢で同居のため	21
家賃が高い	7
地方のため不便	3

※件数の集計については、「不満がある」「不満なので住み替えを希望したい」への回答を合計し、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントして集計を行っている。

例「風呂浴室が狭い。他人と同居はづらい。」という回答は、「狭い」と「2世帯、大勢で同居のため」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(9) 自由回答について

現在の気持ちや考えの自由記入では、540件の回答があった。自由記入の内容を『避難生活支援』255件、『生計支援』80件、『住宅問題』36件、『仕事関係』24件、『産業関係』8件、『行政対応』59件、『その他』84件に分類した(表10)。

1) 避難生活支援

『避難生活支援』については、「一時帰島をし、状況を確認し安心したい」、「小グループに分けて1時間でも良いから一時帰宅をしたい」などの『一時帰島』の回答がもっとも多く118件であった。次いで、「情報が非常に少なく困る、各地で説明会等を数多く開催してほしい」、「流言飛語が多く特に年寄りが心配している。このため情報は多く周知すること」などの『もっと情報提供してほしい』の回答が50件、「長期化に対する三宅村の存続、3年、5年先の計画を提示してほしい」、「行政だけでなく、住民参加の復興計画を進めてほしい」などの『長期化時の対策提示』の回答が27件と続いている。

2) 生計支援

『生計支援』については、「帰島するまでもう少し生活資金を援助してもらいたい。」「毎月少ない額でも良いので生活費がほしい」などの『生計支援全般』の回答がもっとも多く25件であった。これに、『水道光熱費・通信費支援』、『交通費支援』、『食費支援』、『医療費支援』の回答を加えると、生活費などの支援の要望は42件となる。それ以外に多い回答としては、「義援金を一日も早く配布してほしい」などの『義援金の配布』の回答が17件あった。

3) 住宅問題

『住宅問題』については、「住み替えを希望したい」、「長期化するようだったら、役場斡旋により公営(都営住宅)を希望したい」などの『住宅の移転希望』の回答が26件あった。

4) 仕事関係・産業関係

『仕事関係』については、「仕事がしたい」などの『求職』の回答が22件であった。

5) 産業関係

『産業関係』については、「自営業者の借入金に対し、借り換えできるように、都あるいは国に強く働きかけ、実現してほしい」などの『自営業者支援』の回答が6件であった。

表 10 自由回答の内容分類

回答内容分類（１）	回答内容分類（２）	件数
避難生活支援	一時帰島	118
	もっと情報提供してほしい	50
	長期化時の対策提示	27
	高齢者・弱者対策の充実	19
	子供への対応（学校のあり方、未就学児への対応）	18
	地方の避難者への支援	10
	島民が会える機会がほしい	9
	帰島時の復興対策の提示	4
	避難生活支援合計	255
生計支援	生計支援全般	25
	水道光熱費・通信費支援	6
	交通費支援	5
	食費支援	4
	医療費支援	2
	義援金の配布	17
	融資制度（無利子、無担保、無保証人）を作る	5
	住宅ローンの支払い	5
	民間賃貸への家賃補助	4
	三宅の借家の家賃の支払いについて	4
	税金の減免	2
	中間層への支援	1
	生活支援合計	80
住宅問題	住宅の移転希望	26
	住宅の集約（仮三宅村）	8
	現在の公共住宅はいつまで無料か	2
住宅合計	36	
仕事関係	求職	22
	農業希望	2
仕事関係合計	24	
産業関係	自営業者支援	6
	新しい産業の創出	2
産業関係合計	8	
行政対応	行政の対応に対する感謝と激励	41
	行政の対応に対する苦情	18
行政対応合計	59	
その他	早期帰島希望	73
	不安・ストレス	11
その他合計	84	

※件数の集計については、複数の分類に当てはまるものはそれぞれにカウントし、集計を行っている。

例「一時帰島をしたい。また、義援金の配布もお願いしたい」という回答は、「一時帰島」と「義援金の配布」の両方にカウントしている。

※上記の分類に当てはまらないもの、「特になし」などのような回答は集計からはずした。

(10) まとめ

- 避難後の収入の変化については、半数以上の世帯で収入が、減少したり、全くなくなっていることが分かった。特に、比較的安定した収入が見込まれる年金生活者や公務員を除いた世帯では32.5%が全く収入がなくなっている。これを自営業者に限定すると、50.5%の世帯で収入が全くなくなっていることが分かった。村民はこれらの収入の減少に対処するため貯金の取り崩しと義援金により生活を維持しているのが実状である。
- 現在の暮らし向きについては、年金生活者や公務員を除いた世帯の39.4%が現在の生活は苦しいと回答している。特に、自営業関係は50.0%の世帯で生活が苦しいと回答している。これを、年代との関係でみると、年代が上がるに従い現在の生活は苦しいと回答する率が高くなっている。特に60代では32.9%の世帯で苦しいと回答している。また、借入金がある世帯の45.3%が現在の生活は苦しいと回答しており、借入金がない世帯の回答率22.2%よりも高くなっている。
- 現在の生活状態を今後どのくらい続けられるかについては、年金生活者や公務員を除いた世帯では44.7%が現状の生計の維持は1年未満と答えている。さらに自営業者のうち1年未満と回答した世帯は52.9%と半数を超えている。これを、年代との関係でみると、年代が上がるに従い「1年未満」への回答率が高くなっており、特に60代では38.2%の回答率である。反対に、年代が上がるに従い「4年以上」への回答率は低くなっている。特に60代が最も低く6.0%である。年代が上がるにしたがい現在の生計状況の長期継続は難しいと考える世帯が多くなっていることが窺える。また、現在までの就労状況との関係でみると、これまで仕事をしてきたが現在はしていない世帯の44.2%、一度も仕事をしなない世帯の42.0%が現状の生計の維持は1年未満と答えている。
- これまでの就労状況については、60代以上で約6割の世帯が仕事をしていないと回答している。年齢が高いためなどの理由により就職できない人が多いが、現在も40.3%の世帯が仕事を探している。求職者を年代別でみると、60代の世帯主本人の回答率が最も高く30.7%である。
- 医療費については、41.7%の世帯で避難前よりも医療費が増えていることが分かった。
- 以上の結果から、全般的な傾向としては、各世帯とも収入が減少しているにもかかわらず、借入金の返済や増額した医療費、定常的な水道光熱費などの支出が生計面で大きな負担になっていると考えられる。一方、求職活動は高齢という理由でなかなか就職できず、現在も約半数の世帯が仕事を探している状況である。
また、60代前後の年代では、求職活動を行っているにもかかわらず仕事がなかなか見つからないことから、今後の生計の維持に不安を抱いている世帯が多い現状が分かった。
また、就業形態との関係でみた場合、他の世帯に比べ自営業世帯の生活が特に逼迫していることが把握できた。

3. 調査結果

(1) 家族などについて

1) 【A- 問1】災害前の住まい（自宅）の住所（単一回答）

回答者数	神着	伊豆	伊 □ 谷	阿古	坪田	無回答
1,285	240	190	93	384	362	16
%	18.7	14.8	7.2	29.9	28.2	1.2

2) 【A- 問2】回答者（世帯主）の年齢（単一回答）

回答者数	1 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以上	無回答
1,285	-	65	103	167	225	301	410	14
%	-	5.1	8.0	13.0	17.5	23.4	31.9	1.1

3) 【A- 問3】避難前に同居していた家族数（単一回答）

回答者数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上	無回答
1,285	380	474	189	115	70	29	28
%	29.6	36.9	14.7	8.9	5.4	2.3	2.2

4) 【A- 問4】現在（避難後）の同居家族数（単一回答）

回答者数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人 以上	無回答
1,285	233	495	279	135	63	45	35
%	18.1	38.5	21.7	10.5	4.9	3.5	2.7

5) 【A- 問5】家族数の変化（複数回答）

回答者数	寮子 生供 活が を秋 して 川高 校 で	働他 きの に地 域 □に □に 長い 期 で	に特 入養 □老 た人 方ホ が□ いム る等	方避 が難 いる 後 に 入 院 し た	そ の 他
253	107	45	34	15	79
%	42.3	17.8	13.4	5.9	31.2

6) 【A- 問6】三宅島の住宅の所有形態（単一回答）

回答者数	持ち家	村営住宅	住宅 社 宅 や 公 務 員	借家	その他	無回答
1,285	961	86	130	74	21	13
%	74.8	6.7	10.1	5.8	1.6	1.0

7) 【A- 問6-1】家屋の保険などへの加入状況

7) .1 加入状況 (単一回答)

回答者数	加入している	加入していない	わからない	無回答
961	739	164	26	32
%	76.9	17.1	2.7	3.3

7) .2 保険等の種類 (単一回答)

回答者数	地震保険なしの 住宅総合保険	地震保険つきの 住宅総合保険	農協の共済 建物更正共済 □	その他	無回答
739	103	111	484	54	28
%	13.9	15.0	65.5	7.3	3.8

(2) 生計の実態

1) 【B- 問1】避難前の主な職業 (単一回答)

回答者数	農業	漁業・水産加工業	建設業	林業	運輸業	公務員	民宿業	サ □ ビス業	飲食業	小売業	年金	無職	その他	無回答
1,285	112	55	180	3	15	194	57	86	20	49	330	41	105	38
%	8.7	4.3	14.0	0.2	1.2	15.1	4.4	6.7	1.6	3.8	25.7	3.2	8.2	3.0

2) 【B- 問2】避難前の従業形態 (単一回答)

回答者数	会社・団体・個人等に 常時雇用されている □	会社・団体・個人等に 臨時雇用されている □	会社・団体・個人等に アルバイト □	会社・団体・個人等に 日雇い □	自営業主 □ 雇用人あり □	自営業主 □ 雇用人なし □	家族従業者	その他	無回答
876	394	54	51	78	126	67	11	95	
%	45.0	6.2	5.8	8.9	14.4	7.6	1.3	10.8	

3) 【B- 問3】避難前の年収 (単一回答)

※災害前の平成11年の年収に関する設問である。

回答者数	100万円未満	100万円～199万円未満	200万円～299万円未満	300万円～399万円未満	400万円～499万円未満	500万円以上	無回答
1,285	184	211	208	119	134	298	131
%	14.3	16.4	16.2	9.3	10.4	23.2	10.2

4) 【B- 問4】避難後の主な職業 (単一回答)

回答者数	農業	漁業・水産加工業	建設業	林業	運輸業	公務員	民宿業	サ □ ビス業	飲食業	小売業	年金	無職	その他	無回答
1,285	9	11	120	1	16	190	1	49	3	8	487	169	117	104
%	0.7	0.9	9.3	0.1	1.2	14.8	0.1	3.8	0.2	0.6	37.9	13.2	9.1	8.1

5) 【B- 問 5】避難後の従業形態（単一回答）

回答者数	特に仕事はしていない	用雇会社 さわれ れていて いい る □□個人 常人等 雇に	会社 トわ社 等の の臨 時的 的□個人 雇アル □等に	自営業	その他	無回答
580	-	336	128	24	16	76
%	-	57.9	22.1	4.1	2.8	13.1

6) 【B- 問 6】現在の収入状況（単一回答）

・収入状況については以下の分類を基に集計を行った。

(目)収入 1（全体）

(月)収入 2（公務員と年金受給者）

(火)収入 3（公務員と年金受給者を除く）

※比較的収入が安定していると思われる公務員と年金受給者を除いた結果である。

(水)収入 4（自営業者）

⑤収入 5（自営業者除く）

※一般的な給与所得者を想定し集計した結果である。

注) 対象者の選択について、公務員および年金受給者は、【B- 問 1】避難前の主な職業の回答から、自営業者は、【B- 問 2】避難前の従業形態の回答から選択を行った。

	回答者数	な収入 くなが □ま た□た く	く月 ら額 いで 減2 □□ た3 割	い月 減額 □で た5 割 くら	減月 □額 た5 割 以上	いあ まり 変 わ ら な	収入 が 増 え た	そ の 他	無 回 答
全体	1,285	281	187	99	128	434	9	34	113
	%	21.9	14.6	7.7	10.0	33.8	0.7	2.6	8.8
公務員・年金	524	37	54	5	14	329	1	14	70
	%	7.1	10.3	1.0	2.7	62.8	0.2	2.7	13.4
公務員・年金除く	723	235	126	91	113	104	6	20	28
	%	32.5	17.4	12.6	15.6	14.4	0.8	2.8	3.9
自営業者	204	103	12	24	49	5	3	7	1
	%	50.5	5.9	11.8	24.0	2.5	1.5	3.4	0.5
自営業者除く	577	92	133	63	56	207	3	13	10
	%	15.9	23.1	10.9	9.7	35.9	0.5	2.3	1.7

7) 【B- 問 7】 仕事以外の収入状態 (複数回答)

※B の問 7 は、生計維持のための仕事以外の収入に関する複数回答の質問である。

	回答者数	援助 子供 や 親 戚 か ら の	義 援 金	貯 金 の 取 り 崩 し	雇 用 保 険	特 に な し	そ の 他
全体	1,164	139	603	661	72	224	73
	%	11.9	51.8	56.8	6.2	19.2	6.3
公務員・年金	446	53	163	193	4	154	19
	%	11.9	36.5	43.3	0.9	34.5	4.3
公務員・年金除く	692	83	428	456	65	67	51
	%	12.0	61.8	65.9	9.4	9.7	7.4
自営業者	201	29	136	149	1	8	18
	%	14.4	67.7	74.1	0.5	4.0	9.0
自営業者除く	535	43	261	284	64	141	27
	%	8.0	48.8	53.1	12.0	26.4	5.0

8) 【B- 問 8】 避難している生活の中で、光熱・通信関係の支出はどの程度ですか。

8) . 1 支払状況 (単一回答)

	回答者数	払 口 て い る	払 口 て い な い	無 回 答
家賃代	1,285	136	912	237
	%	10.6	71.0	18.4
電気代	1,285	1,043	122	120
	%	81.2	9.5	9.3
ガス代	1,285	1,030	129	126
	%	80.2	10.0	9.8
水道代	1,285	765	339	181
	%	59.5	26.4	14.1
電話代	1,285	1,052	112	121
	%	81.9	8.7	9.4

(ロ)家賃の支払金額

回答者数	5 千 円 未 満	未 5 満 千 円 1 万 円	千 1 万 円 未 満 1 万 5 千 円	万 1 万 円 未 満 2 万 円	千 2 万 円 未 満 2 万 5 千 円	万 2 万 円 未 満 3 万 円	千 3 万 円 未 満 3 万 5 千 円	万 3 万 円 未 満 4 万 円	千 4 万 円 未 満 4 万 5 千 円	万 5 万 円 未 満 5 万 5 千 円	5 万 円 以 上	無 回 答
136	5	-	3	10	8	15	14	3	6	4	58	10
%	3.7	-	2.2	7.4	5.9	11.0	10.3	2.2	4.4	2.9	42.6	7.4

(ハ)家賃の支払金額平均 (回答者数 118 世帯)

	平 均	最 小 値	最 大 値
(単位：円)	51,116	500	200,000

③電気代の支払金額

回答者数	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答
1,043	320	504	126	26	22	45
%	30.7	48.3	12.1	2.5	2.1	4.3

④電気代の支払金額平均（回答者数 925 世帯）

	平均	最小値	最大値
(単位：円)	6,687	800	70,000

⑤ガス代の支払金額

回答者数	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答
1,030	349	509	99	17	8	48
%	33.9	49.4	9.6	1.7	0.8	4.7

⑥ガス代の支払金額平均（回答者数 912 世帯）

	平均	最小値	最大値
(単位：円)	6,081	500	60,000

⑦水道代の支払金額

回答者数	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答
765	490	172	46	7	5	45
%	64.1	22.5	6.0	0.9	0.7	5.9

⑧水道代の支払金額平均（回答者数 659 人）

	平均	最小値	最大値
(単位：円)	4,074	115	60,000

⑨電話代の支払金額

回答者数	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～1万5千円未満	1万5千円～2万円未満	2万円以上	無回答
1,052	230	377	219	71	112	43
%	21.9	35.8	20.8	6.7	10.6	4.1

⑩電話代の支払金額平均（回答者数 936 人）

	平均	最小値	最大値
(単位：円)	9,834	1,500	100,000

9) 【B- 問 9】 生計の状態（単一回答）

	回答者数	非常に苦しい	苦しい	何となく暮らしているが	避難前とほぼ同程度の暮らしである	避難前よりよい暮らしをしている	その他	無回答
全体	1,285	165	211	602	243	10	18	36
	%	12.8	16.4	46.8	18.9	0.8	1.4	2.8
公務員・年金	524	26	50	244	162	4	14	24
	%	5.0	9.5	46.6	30.9	0.8	2.7	4.6
年金	487	46	70	269	72	3	7	20
	%	9.4	14.4	55.2	14.8	0.6	1.4	4.1
公務員・年金除く	723	136	149	339	79	5	4	11
	%	18.8	20.6	46.9	10.9	0.7	0.6	1.5
自営業者	204	54	48	85	14	1	-	2
	%	26.5	23.5	41.7	6.9	0.5	-	1.0
自営業者除く	577	66	96	260	136	3	10	6
	%	11.4	16.6	45.1	23.6	0.5	1.7	1.0

10) 【B- 問 9】年代×生計の状態

	回答者数	非常に苦しい	苦しい	避難前より苦しいが	避難前とほぼ同程度の暮らしである	避難前よりよい暮らしをしている	その他	無回答
全体	1,285	165	211	602	243	10	18	36
	%	12.8	16.4	46.8	18.9	0.8	1.4	2.8
20代	65	4	9	21	28	2	1	-
	%	6.2	13.8	32.3	43.1	3.1	1.5	-
30代	103	14	15	47	23	-	3	1
	%	13.6	14.6	45.6	22.3	-	2.9	1.0
40代	167	20	31	65	40	3	2	6
	%	12.0	18.6	38.9	24.0	1.8	1.2	3.6
50代	225	35	38	94	53	-	4	1
	%	15.6	16.9	41.8	23.6	-	1.8	0.4
60代	301	45	54	164	32	1	-	5
	%	15.0	17.9	54.5	10.6	0.3	-	1.7
70代以上	410	44	62	204	67	4	7	22
	%	10.7	15.1	49.8	16.3	1.0	1.7	5.4

11) 【B- 問 9】C一問1借入金の有無×生計の状態

	回答者数	非常に苦しい	苦しい	避難前より苦しいが	避難前とほぼ同程度の暮らしである	避難前よりよい暮らしをしている	その他	無回答
全体	1,285	165	211	602	243	10	18	36
	%	12.8	16.4	46.8	18.9	0.8	1.4	2.8
ある	380	88	84	156	43	2	4	3
	%	23.2	22.1	41.1	11.3	0.5	1.1	0.8
ない	828	69	115	414	193	8	14	15
	%	8.3	13.9	50.0	23.3	1.0	1.7	1.8

12) 【B- 問 9】D一問1就労状況×生計の状態

	回答者数	非常に苦しい	苦しい	避難前より苦しいが	避難前とほぼ同程度の暮らしである	避難前よりよい暮らしをしている	その他	無回答
全体	1,285	165	211	602	243	10	18	36
	%	12.8	16.4	46.8	18.9	0.8	1.4	2.8
仕事をしている	468	42	65	213	133	3	9	3
	%	9.0	13.9	45.5	28.4	0.6	1.9	0.6
仕事をしたことはあるが現在はしていない	113	20	22	61	9	1	-	-
	%	17.7	19.5	54.0	8.0	0.9	-	-
一度も仕事についていない	459	86	90	203	65	2	6	7
	%	18.7	19.6	44.2	14.2	0.4	1.3	1.5
その他	41	7	8	21	3	1	1	-
	%	17.1	19.5	51.2	7.3	2.4	2.4	-

13) 【B- 問 10】 生計の見通し (単一回答)

	回答者数	非常に苦しくなりそう	少し苦しくなりそう	せせうが□何とか暮ら	暮ら前とほぼ同程度の	に避難前よりよい暮らし	その他	無回答
全体	1,285 %	355 27.6	270 21.0	400 31.1	194 15.1	7 0.5	15 1.2	44 3.4
公務員・年金	524 %	68 13.0	91 17.4	188 35.9	139 26.5	4 0.8	6 1.1	28 5.3
年金	487 %	102 20.9	98 20.1	205 42.1	52 10.7	3 0.6	4 0.8	23 4.7
公務員・年金除く	723 %	275 38.0	167 23.1	203 28.1	53 7.3	2 0.3	8 1.1	15 2.1
自営業者	204 %	86 42.2	43 21.1	60 29.4	11 5.4	- -	1 0.5	3 1.5
自営業者除く	577 %	165 28.6	131 22.7	144 25.0	117 20.3	2 0.3	9 1.6	9 1.6

14) 【B- 問 10】 年代×生計の見通し

	回答者数	非常に苦しくなりそう	少し苦しくなりそう	せせうが□何とか暮ら	暮ら前とほぼ同程度の	に避難前よりよい暮らし	その他	無回答
全体	1,285 %	355 27.6	270 21.0	400 31.1	194 15.1	7 0.5	15 1.2	44 3.4
20代	65 %	11 16.9	17 26.2	12 18.5	23 35.4	2 3.1	- -	- -
30代	103 %	26 25.2	22 21.4	29 28.2	22 21.4	- -	3 2.9	1 1.0
40代	167 %	50 29.9	33 19.8	37 22.2	35 21.0	1 0.6	4 2.4	7 4.2
50代	225 %	73 32.4	45 20.0	52 23.1	48 21.3	- -	3 1.3	4 1.8
60代	301 %	101 33.6	70 23.3	104 34.6	19 6.3	1 0.3	1 0.3	5 1.7
70代以上	410 %	90 22.0	78 19.0	163 39.8	47 11.5	3 0.7	3 0.7	26 6.3

15) 【B- 問 10】 C-問1 借入金

の有無×生計の見通し

	回答者数	非常に苦しくなりそう	少し苦しくなりそう	せせうが□何とか暮ら	暮ら前とほぼ同程度の	に避難前よりよい暮らし	その他	無回答
全体	1,285 %	355 27.6	270 21.0	400 31.1	194 15.1	7 0.5	15 1.2	44 3.4
ある	380 %	167 43.9	84 22.1	79 20.8	37 9.7	- -	7 1.8	6 1.6
ない	828 %	171 20.7	171 20.7	302 36.5	153 18.5	6 0.7	8 1.0	17 2.1

16) 【B- 問 10】 D-問 1 就労状況×生計の見通し

	回答者数	非常に苦しくなりそう	少し苦しくなりそう	苦しいが□何とか暮らせそう	避難前とほぼ同程度の暮らしができそう	避難前よりよい暮らしに	その他	無回答
全体	1,285	355	270	400	194	7	15	44
	%	27.6	21.0	31.1	15.1	0.5	1.2	3.4
仕事をしている	468	106	104	121	120	2	7	8
	%	22.6	22.2	25.9	25.6	0.4	1.5	1.7
仕事をしたことはあるが現在はしていない	113	44	38	25	3	1	2	-
	%	38.9	33.6	22.1	2.7	0.9	1.8	-
一度も仕事についていない	459	158	84	158	44	-	6	9
	%	34.4	18.3	34.4	9.6	-	1.3	2.0
その他	41	11	9	17	3	-	-	1
	%	26.8	22.0	41.5	7.3	-	-	2.4

17) 【B- 問 11】 生計の継続期間（単一回答）

	回答者数	1年未満	1年ぐらい	2年ぐらい	3年ぐらい	4年以上	無回答
全体	1,285	435	333	126	68	183	140
	%	33.9	25.9	9.8	5.3	14.2	10.9
公務員・年金	524	101	128	59	30	128	78
	%	19.3	24.4	11.3	5.7	24.4	14.9
年金	487	154	122	58	26	49	78
	%	31.6	25.1	11.9	5.3	10.1	16.0
公務員・年金除く	723	323	192	64	37	53	54
	%	44.7	26.6	8.9	5.1	7.3	7.5
自営業者	204	108	53	12	10	9	12
	%	52.9	26.0	5.9	4.9	4.4	5.9
自営業者除く	577	181	154	58	35	112	37
	%	31.4	26.7	10.1	6.1	19.4	6.4

18) 【B- 問 11】 年代×生計の継続期間

	回答者数	1年未満	1年ぐらい	2年ぐらい	3年ぐらい	4年以上	無回答
全体	1,285	435	333	126	68	183	140
	%	33.9	25.9	9.8	5.3	14.2	10.9
20代	65	12	19	4	3	25	2
	%	18.5	29.2	6.2	4.6	38.5	3.1
30代	103	34	32	9	3	21	4
	%	33.0	31.1	8.7	2.9	20.4	3.9
40代	167	51	44	14	11	31	16
	%	30.5	26.3	8.4	6.6	18.6	9.6
50代	225	80	57	23	14	40	11
	%	35.6	25.3	10.2	6.2	17.8	4.9
60代	301	115	86	31	15	18	36
	%	38.2	28.6	10.3	5.0	6.0	12.0
70代以上	410	135	93	45	21	47	69
	%	32.9	22.7	11.0	5.1	11.5	16.8

19) 【B- 問 11】 C-問 1 借入金の有無×生計の継続期間

	回答者数	1年未満	1年ぐらいい	2年ぐらいい	3年ぐらいい	4年以上	無回答
全体	1,285	435	333	126	68	183	140
	%	33.9	25.9	9.8	5.3	14.2	10.9
ある	380	163	104	32	17	38	26
	%	42.9	27.4	8.4	4.5	10.0	6.8
ない	828	248	217	87	48	144	84
	%	30.0	26.2	10.5	5.8	17.4	10.1

20) 【B- 問 11】 D-問 1 就労状況×生計の継続期間

	回答者数	1年未満	1年ぐらいい	2年ぐらいい	3年ぐらいい	4年以上	無回答
全体	1,285	435	333	126	68	183	140
	%	33.9	25.9	9.8	5.3	14.2	10.9
仕事をしている	468	120	144	42	31	105	26
	%	25.6	30.8	9.0	6.6	22.4	5.6
仕事をしたことはあるが現在はしていない	113	50	35	15	4	5	4
	%	44.2	31.0	13.3	3.5	4.4	3.5
一度も仕事についていない	459	193	105	38	21	53	49
	%	42.0	22.9	8.3	4.6	11.5	10.7
その他	41	21	8	2	4	2	4
	%	51.2	19.5	4.9	9.8	4.9	9.8

(3) 借入金の実態

1) 【C- 問 1】 借入金の状況

(単一回答)

回答者数	ある	ない	無回答
1,285	380	828	77
%	29.6	64.4	6.0

1) .1 借入金の内容

(複数回答)

回答者数	車住宅ローンのため	の事借入りのため	その他	無回答
380	250	118	54	11
%	65.8	31.1	14.2	2.9

1) .2 【C- 問 1-2】 借入残金

	回答者数	50万円未満	50万円未 満□	10万円未 満□	20万円未 満□	30万円未 満□	40万円未 満□	50万円未 満□	100万円以上	無回答
全体	380	23	16	26	34	24	14	48	139	56
	%	6.1	4.2	6.8	8.9	6.3	3.7	12.6	36.6	14.7
公務員・年金	86	6	4	5	5	5	2	7	36	16
	%	7.0	4.7	5.8	5.8	5.8	2.3	8.1	41.9	18.6
公務員・年金除く	282	16	11	20	26	17	12	41	102	37
	%	5.7	3.9	7.1	9.2	6.0	4.3	14.5	36.2	13.1
自営業者	114	6	-	4	9	5	2	21	54	13
	%	5.3	-	3.5	7.9	4.4	1.8	18.4	47.4	11.4
自営業者除く	205	10	12	18	17	14	10	24	77	23
	%	4.9	5.9	8.8	8.3	6.8	4.9	11.7	37.6	11.2

1) .3 借入残金の平均（単位：万円）

	回答者数	平均
全体	324	1,275
公務員・年金	70	1,332
公務員・年金除く	245	1,288
自営業者	101	1,786
自営業者除く	182	1,027

1) .4 【C- 問1-3】災害前の返済金額（単一回答）

	回答者数	3万円以下	3万5千円以下	5万1千円以下	10万円以上	無回答
全体	380	51	58	108	116	47
	%	13.4	15.3	28.4	30.5	12.4
公務員・年金	86	16	12	32	16	10
	%	18.6	14.0	37.2	18.6	11.6
公務員・年金除く	282	33	44	75	100	30
	%	11.7	15.6	26.6	35.5	10.6
自営業者	114	9	10	25	60	10
	%	7.9	8.8	21.9	52.6	8.8
自営業者除く	205	30	40	74	46	15
	%	14.6	19.5	36.1	22.4	7.3

1) .5 【C- 問1-4】現在の返済状況（単一回答）

	回答者数	返済前と同じように 払っている	利息だけ払っている	元金も利息も払っていない	その他	無回答
全体	380	232	65	45	7	31
	%	61.1	17.1	11.8	1.8	8.2
公務員・年金	86	67	-	12	1	6
	%	77.9	-	14.0	1.2	7.0
公務員・年金除く	282	161	64	30	5	22
	%	57.1	22.7	10.6	1.8	7.8
自営業者	114	48	43	14	1	8
	%	42.1	37.7	12.3	0.9	7.0
自営業者除く	205	157	20	16	4	8
	%	76.6	9.8	7.8	2.0	3.9

(4) 求職の実態

1) 【D- 問1】これまでの求職活動の状況（単一回答）

回答者数	仕事をしている	あるが現在はしてはいない	仕事をしたいことはあるが現在はしてはいない	一度も仕事についていない	その他	無回答
1,285	468	113	459	41	204	
%	36.4	8.8	35.7	3.2	15.9	

1) .1 【D- 問 1】年代×これまでの求職活動の状況

	回答者数	仕事を している	が仕事 を はした こと はない	ない 一 度 も 仕 事 に つ い て い	そ の 他	無 回 答
全体	1,285	468	113	459	41	204
	%	36.4	8.8	35.7	3.2	15.9
20代	65	55	1	3	1	5
	%	84.6	1.5	4.6	1.5	7.7
30代	103	85	6	7	1	4
	%	82.5	5.8	6.8	1.0	3.9
40代	167	109	20	21	5	12
	%	65.3	12.0	12.6	3.0	7.2
50代	225	143	23	41	4	14
	%	63.6	10.2	18.2	1.8	6.2
60代	301	63	41	143	8	46
	%	20.9	13.6	47.5	2.7	15.3
70代以上	410	9	20	238	21	122
	%	2.2	4.9	58.0	5.1	29.8

1) .2 【D- 問 1-1】未就労の理由（複数回答）

回答者数	か特 □に 必要 な な	分噴 か火 からの 見通 し た め が	年 齢 が 高 い た め	な賃 金 が □ た た め 額 で	勤 務 先 が 遠 い	か希 望 の 職 種 が な	そ の 他	無 回 答
572	42	83	380	14	39	51	96	59
%	7.3	14.5	66.4	2.4	6.8	8.9	16.8	10.3

2) 【D- 問 2】現在の求職活動の状況（単一回答）

	回答者数	い ない	1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	合 計 1 人 以 上
全体	967	576	276	102	10	3	391
	%	59.6	28.5	10.5	1.0	0.3	40.3
公務員・年金	367	285	66	15	1	-	82
	%	77.7	18.0	4.1	0.3	-	22.4
公務員・年金除く	578	279	204	84	8	3	299
	%	48.3	35.3	14.5	1.4	0.5	51.7
自営業者	168	75	59	28	4	2	93
	%	44.6	35.1	16.7	2.4	1.2	55.4
自営業者除く	489	277	151	56	4	1	212
	%	56.6	30.9	11.5	0.8	0.2	43.4

3) 【D-問2-1】希望職種と求職活動方法

①性別×年代（回答者本人・2人目・3人目）

		回答者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答者本人	全体	326	0	11	28	58	57	100	72
		%	0.0	3.4	8.6	17.8	17.5	30.7	22.1
	男性	207	0	7	12	38	36	69	45
		%	0.0	3.4	5.8	18.4	17.4	33.3	21.7
	女性	119	0	4	16	20	21	31	27
		%	0.0	3.4	13.4	16.8	17.6	26.1	22.7
2人目	全体	162	2	9	18	39	34	45	15
		%	1.2	5.6	11.1	24.1	21.0	27.8	9.3
	男性	21	1	1	6	4	3	5	1
		%	4.8	4.8	28.6	19.0	14.3	23.8	4.8
	女性	141	1	8	12	35	31	40	14
		%	0.7	5.7	8.5	24.8	22.0	28.4	9.9
3人目	全体	17	1	1	2	5	3	2	3
		%	5.9	5.9	11.8	29.4	17.6	11.8	17.6
	男性	3	0	0	1	1	1	0	0
		%	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	女性	14	1	1	1	4	2	2	3
		%	7.1	7.1	7.1	28.6	14.3	14.3	21.4

②性別×年代（回答者本人・2人目・3人目合計）

	回答者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	505	3	21	48	102	94	147	90
	%	0.6	4.2	9.5	20.2	18.6	29.1	17.8
男性	231	1	8	19	43	40	74	46
	%	0.4	3.5	8.2	18.6	17.3	32.0	19.9
女性	274	2	13	29	59	54	73	44
	%	0.7	4.7	10.6	21.5	19.7	26.6	16.1

③性別×希望職種（回答者本人・2人目・3人目合計）

	回答者数	業建 築土 木作	造 園 作 業	清 掃 作 業	事 務 作 業	業組 み立 て作	管 理 人 業	引 越 業	調 理 員	サ □ ビ ス 業	そ の 他
全体	386	53	27	87	45	7	14	-	20	81	52
	%	13.7	7.0	22.5	11.7	1.8	3.6	-	5.2	21.0	13.5
男性	186	52	17	33	10	5	13	-	6	28	22
	%	28.0	9.1	17.7	5.4	2.7	7.0	-	3.2	15.1	11.8
女性	200	1	10	54	35	2	1	-	14	53	30
	%	0.5	5.0	27.0	17.5	1.0	0.5	-	7.0	26.5	15.0

④年代×希望職種（回答者本人・2人目・3人目合計）

	回答者数	建築土木作業	造園作業	清掃作業	事務作業	組み立て作業	管理人業	引越業	調理員	サービス業	その他
全体	346	50	23	75	43	7	12	0	17	71	48
	%	14.5	6.6	21.7	12.4	2.0	3.5	0.0	4.9	20.5	13.9
10代	3	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	%	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
20代	17	1	0	1	5	0	0	0	1	6	3
	%	5.9	0.0	5.9	29.4	0.0	0.0	0.0	5.9	35.3	17.6
30代	34	7	1	4	6	0	0	0	1	6	9
	%	20.6	2.9	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	2.9	17.6	26.5
40代	83	9	1	6	13	6	2	0	4	25	17
	%	10.8	1.2	7.2	15.7	7.2	2.4	0.0	4.8	30.1	20.5
50代	76	11	3	17	11	1	3	0	6	21	3
	%	14.5	3.9	22.4	14.5	1.3	3.9	0.0	7.9	27.6	3.9
60代	97	16	12	33	7	0	4	0	5	10	10
	%	16.5	12.4	34.0	7.2	0.0	4.1	0.0	5.2	10.3	10.3
70代以上	35	6	6	12	1	0	3	0	0	1	6
	%	17.1	17.1	34.3	2.9	0.0	8.6	0.0	0.0	2.9	17.1

⑤求職活動方法（複数回答）

	回答者数	三宅村の職業相談	職業安定所 □ハロ□ワ□ク□	親戚・知人に頼んで いる	求人雑誌	その他	特に活動はしていない
全体	458	95	152	147	121	39	123
	%	20.7	33.2	32.1	26.4	8.5	26.9
男性	217	49	79	76	53	17	59
	%	22.6	36.4	35.0	24.4	7.8	27.2
女性	241	46	73	71	68	22	64
	%	19.1	30.3	29.5	28.2	9.1	26.6

(5) 情報収集の実態

【E-問1】入手情報は、以下の4種類について、それぞれ満足度と入手方法を聞いた。

- 1) 火山活動の情報
- 2) 島の被害情報
- 3) 自宅等の被害情報
- 4) 都・村の支援情報

①情報の満足度（単一回答）

	回答者数	満足している	いほ満足して いる	えど ち ら と も い ない	る や 不 満 で あ る	足 た い へ ん 不 満
火山活動の情報	923	58	224	227	246	168
	%	6.3	24.3	24.6	26.7	18.2
島の被害情報	920	37	154	178	291	260
	%	4.0	16.7	19.3	31.6	28.3
自宅等の被害情報	901	31	76	141	233	420
	%	3.4	8.4	15.6	25.9	46.6
都・村の支援情報	893	67	216	239	225	146
	%	7.5	24.2	26.8	25.2	16.3

②入手方法（複数回答）

	回答者数	村の広報	新聞・雑誌	インタ □ネ □ト	テレビ・ラジオ	住民説明会	その他
火山活動の情報	929	344	381	139	684	42	45
	%	37.0	41.0	15.0	73.6	4.5	4.8
島の被害情報	912	371	337	130	619	54	57
	%	40.7	37.0	14.3	67.9	5.9	6.3
自宅等の被害情報	727	263	156	76	314	60	151
	%	36.2	21.5	10.5	43.2	8.3	20.8
都・村の支援情報	870	553	238	100	407	78	53
	%	63.6	27.4	11.5	46.8	9.0	6.1

(6) 医療の実態

1) 【F- 問 1】現在の医療費の実態（単一回答）

回答者数	てか いなる 増え	いや るや 増えて	らあ ま り 変わ	減 □ て いる	無 回 答
1,285	248	288	481	23	245
%	19.3	22.4	37.4	1.8	19.1

1) .1 【F- 問 1-1】毎月の医療費増加分の実態

回答者数	1 万 円 未 満	1 □ 2 万 円 未 満	2 □ 3 万 円 未 満	3 □ 4 万 円 未 満	4 □ 5 万 円 未 満	5 万 円 以 上	無 回 答
536	94	170	75	34	4	37	122
%	17.5	31.7	14.0	6.3	0.7	6.9	22.8

平均値（単位：万円）

回答者数	平均	最小値	最大値
414	3	0	120

2) 【F- 問 2】現在の医療関係の困窮（複数回答）

回答者数	る医 療 費 が か か り す ぎ	交医 通療 費費 機関 がが か遠 かい るの で	者以 が前 が近 かか くに □ いて ない 医	そ の 他
506	169	244	158	68
%	33.4	48.2	31.2	13.4

(7) 教育について

1) 【G- 問 1】 通学先の実態
(単一回答)

回答者数	秋川高校内の学校	避難先の学校	その他
181	104	67	10
%	57.5	37.0	5.5

2) 【G- 問 2】 今後の学校のあり方
(単一回答)

回答者数	三寮住宅に通学させるべき	寮生活でもよいから一緒に通学させるべき	学校は一緒に通学させて□自	避難先の近くの学校に通学させるべき	その他
471	86	95	217	73	
%	18.3	20.2	46.1	15.5	

(8) 住宅について

1) 【H- 問 1】 現在の住宅の種類 (単一回答)

回答者数	公営住宅	民間賃貸住宅	親の実家	知人宅	子供の家	その他	無回答
1,285	833	65	35	13	89	102	148
%	64.8	5.1	2.7	1.0	6.9	7.9	11.5

2) 【H- 問 2】 住宅についての意向
(単一回答)

回答者数	今の住宅でほぼ満足している	不満がある	不満なので住み替えを希望したい	無回答
1,285	806	154	84	241
%	62.7	12.0	6.5	18.8

3) 【H- 問 3】 東京都内への移転希望
(単一回答)

回答者数	希望する	希望しない
180	63	117
%	35.0	65.0

4. 資料（調査票）

三宅島火山活動災害の長期化に対する生活実態アンケート調査

平成13年2月
三宅村保健福祉課

現在、三宅島の火山活動については、2月5日火山噴火予知連絡会の発表で「多量の火山ガスを放出する活動は今後も続くと考えられる。」との統一見解（別紙参照）があり、避難の長期化は避けられない状況にあります。

このアンケート調査は、三宅島火山活動災害により、5ヶ月以上に渡り避難生活を強いられている被災者の皆さんの生活実態や意向などを把握し、その結果を今後の対策に反映させるために実施するものです。

つきましては、長期避難中でお疲れのこととは存じますが、アンケート調査のご協力をお願いいたします。

【ご記入にあたってのお願い】

この調査票は、平成13年2月22日現在の住民基本台帳に基づく避難先の世帯主に送付しております。（ただし、9月4日以降の転入者は除いております。）

- ①このアンケートの記入は世帯主の方をお願いいたします。
- ②避難先に複数の世帯主がいらっしゃる場合は、それぞれ1票ずつご回答ください。
- ③世帯主の方がお仕事等でご不在の場合世帯主に準ずる方がご回答ください。
- ④回答は、特に回答数の指定等がない限り、各設問ごとあてはまる回答の番号を1つだけ選んで○印つけてください。
- ⑤回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

【問い合わせ先・調査の回収について】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手貼付済）をご使用になり

3月15日（木）までにご投函ください。

なお、本アンケートについてのお問い合わせは下記までお願い致します。

三宅村 保健福祉課 電話：03-5320-7827

A あなた御自身やご家族のことについて

問1 三宅島では、どの地区にお住まいでしたか。

1. 神着 2. 伊豆 3. 伊ヶ谷 4. 阿古 5. 坪田

問2 あなたの年齢についてお聞きします。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代以上

問3 避難前に同居していた家族数（あなた自身も含む）についてお聞きします。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

問4 現在（避難後）、一緒に生活している人は何人ですか。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

問5 避難前に比べ現在、一緒に暮らしている家族の人数が減っている方におうかがいします。その理由はなんですか。（該当するものすべてに○印を付けてください）。

1. 子供が秋川高校で寮生活をしている
2. 他の地域に長期で働きにいつている
3. 特養老人ホーム等に入った方がいる
4. 避難後に入院した方がいる
5. その他（具体的に：)

問6 あなたの三宅島での住宅についてお聞きします。

1. 持ち家 2. 村営住宅 3. 社宅や公務員住宅 4. 借家
5. その他（具体的に：)

（問6で「1. 持ち家」とご回答の方に）

問6-1 あなたの家屋は、保険や共済に加入していますか。加入している方はその種類についてもご回答ください。

1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない
↓
（その種類）1. 地震保険なしの住宅総合保険 2. 地震保険付きの住宅総合保険
3. 農協の共済（建物更正共済） 4. その他（具体的に：)

B 生計について

問1 避難前のあなたの世帯の主な収入源になっている職業は何ですか。

- | | | | | |
|--------|-------------|---------------|--------|---------|
| 1. 農業 | 2. 漁業・水産加工業 | 3. 建設業 | 4. 林業 | 5. 運輸業 |
| 6. 公務員 | 7. 民宿業 | 8. サービス業 | 9. 飲食業 | 10. 小売業 |
| 11. 年金 | 12. 無職 | 13. その他（具体的に： | ） | |

問2 避難前のあなたの世帯の主な収入源になっている職業に従事している方の従業形態は何ですか。

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 1. 会社・団体・個人などに雇われている（常時雇用されている） | | | | |
| 2. 会社・団体・個人などに雇われている（アルバイト・パート等の臨時的雇用） | | | | |
| 3. 会社・団体・個人などに雇われている（日雇い） | | | | |
| 4. 自営業主（雇用人あり） | | | | |
| 5. 自営業主（雇用人なし） | | | | |
| 6. 家族従業者 | | | | |
| 7. その他（具体的に： | ） | | | |

問3 あなたの世帯の避難前の前年（平成11年分）の年収はどのくらいですか。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100～200万円未満 | 3. 200～300万円未満 |
| 4. 300～400万円未満 | 5. 400～500万円未満 | 6. 500万円以上 |

問4 避難後のあなたの世帯の主な収入源になっている職業は何ですか。

- | | | | | |
|--------|-------------|---------------|--------|---------|
| 1. 農業 | 2. 漁業・水産加工業 | 3. 建設業 | 4. 林業 | 5. 運輸業 |
| 6. 公務員 | 7. 民宿業 | 8. サービス業 | 9. 飲食業 | 10. 小売業 |
| 11. 年金 | 12. 無職 | 13. その他（具体的に： | ） | |

問5 避難後のあなたの世帯の主な収入源になっている職業に従事している方の従業形態は何ですか。

- | | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 1. 特に仕事はしていない | | | | |
| 2. 会社・団体・個人などに雇われている（常時雇用されている） | | | | |
| 3. 会社・団体・個人などに雇われている（アルバイト・パート等の臨時的雇用） | | | | |
| 4. 自営業 | | | | |
| 5. その他（具体的に： | ） | | | |

問6 避難前と比べて今の収入はどうなりましたか。

- | | | | | |
|-----------------|------------------|--|--|--|
| 1. 収入がまったくなくなった | 2. 月額で2～3割くらい減った | | | |
| 3. 月額で5割くらい減った | 4. 月額で5割以上減った | | | |
| 5. あまり変わらない | 6. 収入が増えた | | | |
| 7. その他（具体的に： | ） | | | |

問7 仕事による収入以外にどのような方法で生活を維持していますか（該当するものに○印をつけてください）。

- | | | | | |
|---------------|--------------|------------|---------|--|
| 1. 子供や親戚からの援助 | 2. 義援金 | 3. 貯金の取り崩し | 4. 雇用保険 | |
| 5. 特になし | 6. その他（具体的に： | | | |

問8 避難している生活の中で、家賃及び光熱水・通信費関係の支出はどの程度ですか。

a. 家賃代 1. 払っている (1ヶ月あたり約 _____ 円) 2. 払っていない

b. 電気代 1. 払っている (1ヶ月あたり約 _____ 円) 2. 払っていない

c. ガス代 1. 払っている (1ヶ月あたり約 _____ 円) 2. 払っていない

d. 水道代 1. 払っている (1ヶ月あたり約 _____ 円) 2. 払っていない

e. 電話代 1. 払っている (1ヶ月あたり約 _____ 円) 2. 払っていない

問9 現在の収入で、あなたの世帯の暮らしむきはどのような状態ですか。

1. 非常に苦しい
2. 苦しい
3. 避難前よりは苦しいが、何とか暮らせている
4. 避難前とほぼ同程度の暮らしである
5. 避難前よりよい暮らしをしている
6. その他 (具体的に: _____)

問10 今後の生計の見通しはどうか

1. 非常に苦しくなりそうだ
2. 少し苦しくなりそうだ
3. 苦しいが、何とか暮らせそうだ
4. 避難前とほぼ同程度の暮しができそうだ
5. 避難前よりよい暮らしになりそうだ
6. その他 (具体的に: _____)

問11 経済面で考えたとき、今のような状態をあとどれぐらいの期間続けられると思いますか。

1. 1年未満
2. 1年ぐらい
3. 2年ぐらい
4. 3年ぐらい
5. 4年以上

C 借入金について

問1 あなたの世帯で避難前に金融機関からの借り入れ金がありますか

1. ある
2. ない → 問2へお進みください

(問1で「1.ある」とご回答の方へ)

問1-1 借入金の内容はどのようなものですか (該当するものすべてに○印を付けてください)

1. 住宅資金や車のローン
2. 事業のための借り入れ
3. その他 (具体的に: _____)

問1-2 借入金の残額は合計でいくらぐらいですか。
(合計で約 _____ 万円)

問1-3 もともとの月々の返済金(利息を含む)ほどの程度ですか。

- | | | | |
|----------|------------|-------------|-----------|
| 1. 3万円以下 | 2. 3～5万円以下 | 3. 5～10万円以下 | 4. 10万円以上 |
|----------|------------|-------------|-----------|

問1-4 現在、返済はどのようにしていますか

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 避難前と同じように払っている | 2. 利息だけ払っている |
| 3. 元金も利息も払っていない | 4. その他(具体的に: _____) |

問2 借入金に対し、希望する支援策があれば自由に意見をご記入ください。

----- -----

D 求職について

問1 避難後～現在までのあなた御自身の求職活動はどのような状況ですか。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 仕事をしている | 2. 仕事をしたことはあるが現在はしていない |
| 3. 一度も仕事についていない | 4. その他(具体的に: _____) |

(問1で、1.～3.とご回答の方に)

問1-1 これまで就労できなかった理由は何ですか(該当するものすべてに○印をつけてください)。

- | |
|---------------------|
| 1. 特に必要がなかったため |
| 2. 噴火の見通しが分からないため |
| 3. 年齢が高いため |
| 4. 賃金が希望額でなかったため |
| 5. 勤務先が遠い |
| 6. 希望の職種がなかったため |
| 7. その他(具体的に: _____) |

問2 あなた自身を含めたご家族の中で今現在仕事を探している人(今仕事をしている人でも別に就労の希望がある方も含みます)ほどの程度いますか。

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|--------|-------|-------|-------|---------|

(問2で、2.～5.とご回答の方に)

問2-1 どのような仕事を探していますか。また今までどのような求職活動をしてきましたか。それぞれについて3人までご回答ください。

ア 御自身→ (性別：1. 男性 2. 女性 年齢 _____ 歳代)

<希望職種> (もっとも希望の強い職種1つ)

- | | | | |
|-----------|------------------------|---------|---------|
| 1. 建築土木作業 | 2. 造園作業 | 3. 清掃作業 | 4. 事務作業 |
| 5. 組み立て作業 | 6. 管理人業 | 7. 引越業 | 8. 調理員 |
| 9. サービス業 | 10. その他 (具体的に： _____) | | |

<求職活動> (該当するものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 三宅村の職業相談 | 2. 職業安定所 (ハローワーク) |
| 3. 親戚、知人に頼んでいる | 4. 求人雑誌 |
| 5. その他 (具体的に： _____) | |
| 6. 特に活動はしていない | |

イ 2人目の方→ (性別：1. 男性 2. 女性 年齢 _____ 歳代)

<希望職種> (もっとも希望の強い職種1つ)

- | | | | |
|-----------|------------------------|---------|---------|
| 1. 建築土木作業 | 2. 造園作業 | 3. 清掃作業 | 4. 事務作業 |
| 5. 組み立て作業 | 6. 管理人業 | 7. 引越業 | 8. 調理員 |
| 9. サービス業 | 10. その他 (具体的に： _____) | | |

<求職活動> (該当するものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 三宅村の職業相談 | 2. 職業安定所 (ハローワーク) |
| 3. 親戚、知人に頼んでいる | 4. 求人雑誌 |
| 5. その他 (具体的に： _____) | |
| 6. 特に活動はしていない | |

ウ 3人目の方→ (性別：1. 男性 2. 女性 年齢 _____ 歳代)

<希望職種> (もっとも希望の強い職種1つ)

- | | | | |
|-----------|------------------------|---------|---------|
| 1. 建築土木作業 | 2. 造園作業 | 3. 清掃作業 | 4. 事務作業 |
| 5. 組み立て作業 | 6. 管理人業 | 7. 引越業 | 8. 調理員 |
| 9. サービス業 | 10. その他 (具体的に： _____) | | |

<求職活動> (該当するものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 三宅村の職業相談 | 2. 職業安定所 (ハローワーク) |
| 3. 親戚、知人に頼んでいる | 4. 求人雑誌 |
| 5. その他 (具体的に： _____) | |
| 6. 特に活動はしていない | |

問3 就労について希望する支援策があれば自由に意見をご記入してください。

----- -----

F 医療について

問1 現在、避難前に比べて医療費（通院等のための交通費を含む）は増えていますか

1. かなり増えている 2. やや増えている 3. あまり変わらない 4. 減っている

(問1で1.～2「増えている」とご回答の方に)

問1-1 毎月の医療費の増加分（交通費を含めて）を下記にご記入ください。

約 _____ 万円

問2 現在、医療関係で困っていることは何ですか（該当するものすべてに○印をつけてください）。

1. 医療費がかかりすぎる
2. 医療機関が遠いので交通費がかかる
3. 以前かかっていた医者が近くにいない
4. その他（具体的に： _____)

問3 医療について希望する支援策があれば自由に意見をご記入してください。

G 教育について

問1 家族の中に通学しているお子さんのいる方にお聞きします。

現在のお子さんの通学先はどこですか。

1. 秋川高校内の学校
2. 避難先の学校
3. その他（具体的に： _____)

(全員におうかがいします。)

問2 今後の学校はどのようにすべきとお考えですか。

1. 寮生活でもよいから、できるだけ三宅の子供を一緒にの学校に通学させるべき
2. 学校は一緒にして、自宅から通学させるべき
3. 避難先の近くの学校に通学させるべき
4. その他（具体的に： _____)

